


Wyse 5470 All-in-One Thin Client


サービスマニュアル




Identifier	GUID-5B8DE7B7-879F-45A4-88E0-732155904029
Version	13
Status	Translation Validated

メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2019- 2020 Dell Inc. またはその関連会社。。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

1 シンクライアントでの作業	5
安全にお使いいただくために.....	5
シンクライアントで作業を行う前に.....	5
安全に関する注意事項.....	6
静電気放電 (ESD) からの保護.....	6
ESD フィールド サービス キット.....	7
敏感なコンポーネントの輸送.....	8
シンクライアントで作業を行った後に.....	8
2 シンクライアントの主要コンポーネント	9
3 コンポーネントの取り外しと取り付け	11
推奨ツール.....	11
ネジの一覧.....	11
スタンド.....	13
イーゼル スタンドの取り外し.....	13
イーゼル スタンドの取り付け.....	14
背面カバー.....	16
背面カバーの取り外し.....	16
背面カバーの取り付け.....	17
VESA マウント ブラケット.....	18
VESA マウントブラケットの取り外し.....	18
VESA マウント ブラケットの取り付け.....	19
オンスクリーン ディスプレイ ボード.....	20
OSD ボードの取り外し.....	20
OSD ボードの取り付け.....	21
ソリッドステートドライブ.....	22
ソリッドステートドライブの取り外し.....	22
ソリッドステートドライブの取り付け.....	23
メモリモジュール.....	24
メモリモジュールの取り外し.....	24
メモリモジュールの取り付け.....	25
ワイヤレス カード.....	26
ワイヤレス カードの取り外し.....	26
ワイヤレス カードの取り付け.....	27
ヒート シンク.....	28
ヒート シンクの取り外し.....	28
ヒートシンクの取り付け.....	29
コイン型電池.....	30
コイン型電池の取り外し.....	30
コイン型電池の取り付け.....	31
カメラ.....	32
カメラの取り外し.....	32
カメラの取り付け.....	33

システム基板.....	34
システム基板の取り外し.....	34
システム基板の取り付け.....	36
スピーカー.....	37
スピーカーの取り外し.....	37
スピーカーの取り付け.....	38
ミドル フレーム.....	39
ミドル フレームの取り外し.....	39
ミドル フレームの取り付け.....	40
ラバーフィート.....	42
ラバーフィートの取り外し.....	42
ラバー フィートの取り付け.....	43
ディスプレイパネル.....	44
ディスプレイパネルの取り外し.....	44
ディスプレイパネルの取り付け.....	45
4 セットアップユーティリティ.....	46
システムセットアップの概要.....	46
シンクライアントの BIOS 設定へのアクセス.....	46
ナビゲーション キー.....	46
起動順序.....	47
一般設定画面のオプション.....	47
システム設定画面のオプション.....	48
ビデオ画面のオプション.....	50
セキュリティ画面のオプション.....	50
セキュア ブート画面のオプション.....	52
Intel Software Guard Extensions 画面のオプション.....	53
パフォーマンス画面のオプション.....	53
電力管理画面のオプション.....	54
POST 動作画面のオプション.....	55
ワイヤレス画面のオプション.....	55
仮想化サポート画面のオプション.....	56
メンテナンス画面のオプション.....	56
システム ログ画面のオプション.....	57
詳細設定.....	57
5 システムのトラブルシューティング.....	58
強化された起動前システムアセスメント診断.....	58
ePSA 診断の実行.....	58
電源の動作.....	59
電源状態と LED のステータス.....	60
6 ヘルプ.....	61
デルへのお問い合わせ.....	61

Identifier	GUID-C18B324F-1FEE-4042-96B8-4B4C0962E23F
Version	1
Status	Translation approved

シンクライアントでの作業

Identifier	GUID-D74016DC-239D-4340-BDF4-DF5E7E635E82
Version	1
Status	Translation approved

安全にお使いいただくために

前提条件

身体の安全を守り、シンクライアントを潜在的損傷から保護するために、次の安全に関する注意に従ってください。特に指示がない限り、本ドキュメントに記載されている各手順では以下の条件を満たしていることを前提とします。

- ・ シンクライアントに付属の「安全に関する情報」を読んでいること。
- ・ コンポーネントは交換可能であり、別売りの場合は取り外しの手順を逆順に実行すれば、取り付け可能であること。

このタスクについて

警告: シンクライアントのカバーまたはパネルを開ける前に、すべての電源を外してください。コンピュータ内部の作業が完了したら、コンセントに接続する前にすべてのカバー、パネル、およびネジを取り付けてください。

メモ: シンクライアントで作業を始める前に、お使いのシンクライアントに付属のガイドで安全に関する注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報については、規制順守ホームページ www.Dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。

注意: 修理のほとんどは、認定を受けたサービス技術者のみが行います。お客様は、製品マニュアルで認められた、あるいはオンラインや電話によるサービス、サポートチームから指示を受けた内容のトラブルシューティング、および簡単な修理作業のみを行ってください。デルが認可していないサービスによる故障は、保証の対象になりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

注意: 静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、一定時間ごとに塗装されていない金属表面とシンクライアントの裏面にあるコネクタに触れたりして、静電気を除去します。

注意: 部品やカードの取り扱いには十分注意してください。カード上の部品や接続部分には触れないでください。カードを持つ際は縁を持つか、金属製の取り付けブラケットの部分を持ってください。プロセッサチップのようなコンポーネントは、ピンの部分ではなく縁を持つようにしてください。

注意: ケーブルを外すときは、コネクタまたはプルタブの部分を持ち、ケーブルそのものを引っ張らないでください。ケーブルによっては、ロックタブ付きのコネクタがあるケーブルもあります。このタイプのケーブルを取り外すときは、ロックタブを押し入れてからケーブルを抜きます。コネクタを外すときは、コネクタピンを曲げないようにまっすぐに引き抜きます。また、ケーブルを接続するときは、両方のコネクタがまっすぐに向き合っていることを確認してください。

メモ: シンクライアントの色および一部のコンポーネントは、本書で示されているものと異なる場合があります。

Identifier	GUID-10ED9AEE-37F2-4517-BDA5-D9ED0DD99059
Version	1
Status	Translation approved

シンクライアントで作業を行う前に

シンクライアントで作業をする前に、次の手順を実行する必要があります。

このタスクについて

i **メモ:** 安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細に関しては、規制順守ホームページ www.Dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。

手順

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のアプリケーションをすべて終了します。
2. [スタート] > [電源] > [シャットダウン] をクリックして、シンクライアントをシャットダウンします。
i **メモ:** シャットダウンの手順は、各オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。
3. シンクライアントおよび取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。
4. シンクライアントからすべてのネットワークケーブルを外します。
5. キーボード、マウス、モニターなど取り付けられているすべてのデバイスや周辺機器をシンクライアントから外します。

Identifier	GUID-618AF8ED-565E-49CC-B756-3FE3C422698F
Version	1
Status	Translation approved

安全に関する注意事項

安全に関する注意事項の章では、分解手順の前に実行する主要な手順を詳しく説明します。

分解および再組み立てを含む、あらゆる取り付け、または故障時修理の手順を実行する前に、次の安全に関する注意事項を遵守してください。

- ・ システムおよび接続されているすべての周辺機器の電源を切ります。
- ・ AC 電源からシステムと取り付けられているすべての周辺機器を取り外します。
- ・ システムからすべてのネットワークケーブル、電話線、および電気通信回線を取り外します。
- ・ 静電気放電 (ESD) による損傷を避けるため、タブレットノートパソコンデスクトップで作業するときは、ESD フィールド サービス キットを使用してください。
- ・ すべてのシステムコンポーネントを取り外した後、静電気防止用マットの上に、取り外したコンポーネントを慎重に配置します。
- ・ 感電死のリスクを低減するため、非導電性のゴム底の靴を履きます。

スタンバイ電源

スタンバイ電源のあるデル製品は、ケースを開く前にプラグを外す必要があります。スタンバイ電源が組み込まれたシステムは、基本的に、電源がオフになっている間に電力が供給されています。内蔵電源により、リモートでシステムの電源をオンにすること (Wake on LAN)、スリープ状態にすること、そしてその他の高度な電源管理機能を搭載することができます。

コンセントからプラグを抜いて、電源ボタンを 15 秒間押し続けて、システム基板の残留電力を放電する必要があります。ポータブルタブレットノートパソコンからバッテリーを取り外します。

ボンディング

ボンディングは、2 本以上の接地線を同じ電位に接続するための方法です。これはフィールドサービス静電気放電 (ESD) キットを使用して行われます。ボンディングワイヤを接続するときは、ペアメタルに接続してあること、そして決して塗装面または非金属面に接続されていないことを確認してください。機器にボンディングをする前に、静電気防止用リストストラップが固定されて肌に完全に接しているようにして、時計、ブレスレット、指輪などの貴金属はすべて取り外すようにしてください。

Identifier	GUID-8467A17D-0644-4794-A69C-B3B629DCAD01
Version	1
Status	Translation approved

静電気放電 (ESD) からの保護

ESD は、電子部品、なかでも拡張カード、プロセッサ、メモリ DIMM、システム基板などの敏感なコンポーネントを取り扱う際の大きな懸念事項です。非常にわずかな電流でも、一時的な停止や製品寿命の短縮などの分かりにくい方法で、回路に損傷を与えることがあります。業界が低消費電力化と高密度化を推進しているため、ESD の保護に関する懸念は高まっています。

最新のデル製品で使用されている半導体は高密度なため、静電気ダメージへの感度が以前のデル製品よりも高まっています。そのため、これまでに承認された部品の取り扱い方法の中には、適切でなくなっているものもあります。

ESD による損傷には、致命的および間欠的な障害の 2 種類が認識されています。

- ・ **致命的** - ESD 関連の障害の約 20 パーセントが致命的な障害です。この損傷により、デバイス機能がすぐに、完全に失われます。致命的な障害の例として、メモリ DIMM が静電気衝撃を受け、メモリの欠落または非機能を示すビープコードの発生と共に、「No POST/No Video」現象をただちに生成する場合があります。
- ・ **間欠的** - ESD 関連の障害の約 80 パーセントが間欠的な障害です。間欠的な障害の可能性が高いということは、損傷が生じたほとんどの場合に、すぐに認識できないということを意味します。DIMM は静電気衝撃を受けませんが、トレースが弱まるのみで、損傷に関連する表面的な症状は、すぐには発生しません。弱まったトレースは数週間または数ヶ月で溶け、その間にメモリ整合性の低下や間欠的なメモリエラーなどを起こす可能性があります。

間欠的な（潜在的または「軽度な損傷」とも呼ばれる）障害は、認識し、トラブルシューティングするのが難しい障害のタイプです。

ESD による損傷を防止するには、次の手順を実行します。

- ・ 適切に接地されている有線の静電気防止リストバンドを使用します。適切な保護が得られないため、現在ワイヤレスの静電気防止用リストバンドの使用は許可されていません。部品を扱う前にシャーシに触れると、ESD 損傷の感度が増した部品に対する適切な ESD 保護が確保されません。
- ・ 静電気に弱いコンポーネントはすべて、静電気防止エリアで扱ってください。できれば、静電気防止用フロアパッドと作業用パッドを使用してください。
- ・ 静電気に敏感なコンポーネントを梱包箱から取り出す場合は、システムに部品を取り付ける用意ができるまで、その部品を静電気防止梱包材から取り出さないでください。静電気防止用のパッケージを開ける前に、必ず身体から静電気を放出してください。
- ・ 静電気に敏感な部品を運ぶ前に、静電気防止容器またはパッケージに入れます。

Identifier	GUID-71671B2F-D235-40A6-B79B-F38F89237FDF
Version	1
Status	Translation approved

ESD フィールド サービス キット

監視対象外のフィールドサービスキットが、最も一般的に使用されているサービスキットです。各フィールドサービスキットには、静電気防止用のマットとリストバンド、およびボンディングワイヤの 3 つの主なコンポーネントが含まれています。

ESD フィールド サービス キットのコンポーネント

ESD フィールド サービス キットのコンポーネントは、次のとおりです。

- ・ **静電気防止マット** - 静電気防止用マットは、静電気防止のために修理手順中に部品を配置することができます。静電気防止用マットは散逸性があり、サービスの手順の中で部品を配置するために使用します。静電気防止用マットを使用する際は、静電気防止用リストバンドをしっかりとめ、ボンディングワイヤをマットと作業中のシステムのベアメタルに接続します。適切に導入したら、サービス部品を ESD 防止袋から取り出して、マットの上に直接置きます。ESD に敏感なアイテムは手の上、ESD マットの上、システム内、またはバッグ内で安全に管理できます。
- ・ **静電気防止用リストバンドとボンディングワイヤ** - ESD マットが必要ない場合には、リストバンドとボンディングワイヤはいずれも直接、手首とハードウェアのベアメタルに直接接続できます。あるいは、一時的にマットの上に置かれているハードウェアを保護するため、静電気防止用マットに接続することもできます。静電気防止用リストバンドとボンディングワイヤが、皮膚、ESD マット、ハードウェアと物理的に接触することをボンディングと言います。フィールドサービスキットには、静電気防止用リストバンド、マット、およびボンディングワイヤのみを使用してください。絶対にワイヤレスの静電気防止用リストバンドを使用しないでください。静電気防止用リストバンドの内部のワイヤが、通常の消耗によって損傷および断裂しやすく、偶発的な ESD によるハードウェア損傷を避けるため、定期的に静電気防止用リストバンドテスターでチェックする必要があることを常に意識してください。静電気防止用リストバンドとボンディングワイヤは、週に 1 回はテストすることをお勧めします。
- ・ **ESD リストバンドテスター** - ESD バンド内側のワイヤは時間の経過に伴い損傷しやすくなります。監視対象外のキットを使用する場合、各サービスコールの前に定期的にバンドをテストし、最低でも週に 1 回テストすることが最も効率的です。リストバンドテスターは、このテストを実行する方法として最適です。自分のリストバンドテスターを所有していない場合は、お客様の地域のオフィスにテスターがあるかどうかを確認してください。テストを実行するには、リストバンドを手首につけている間にボンディングワイヤをテスターに差し込んで、ボタンを押します。テストが成功すると緑色の LED が点灯します。テストが失敗すると、赤い LED が点灯してアラームが鳴ります。
- ・ **インシュレータエレメント** - プラスチック製のヒートシンクカバーなどの ESD に敏感なデバイスは、インシュレータであり、かつ多くの場合は荷電の大きい内部部品から離しておくことが重要です。
- ・ **作業環境** - ESD フィールドサービスキットを展開する前に、お客様の場所で状況を評価します。たとえば、サーバ環境のキットの導入は、デスクトップまたはノートブックの環境とは異なります。サーバは通常、データセンター内のラック内に設置され、デスクトップまたはノートブックは通常、オフィスデスクまたは小部屋に配置されます。修理中のタイプのシステムを収容するため、追加スペースのある ESD キットを導入できるだけの大きさで、整頓されたオープンフラットな大きい作業エリアを常に探します。作業スペースは、ESD イベントの原因となり得るインシュレータを含まないことも必要です。作業エリアでは、ハー

ドウェア部品を物理的に取り扱う前に、発泡スチロールやその他のプラスチックなどのインシュレータを敏感なパーツから少なくとも 12 インチまたは 30 センチ離すようにしてください。

- ESD パッケージ - すべての ESD に敏感なデバイスは静電気防止梱包材に入れて発送および受領される必要があります。金属製の静電気防止袋を推奨します。ただし、損傷した部品を返送するときは常に、新品の部品が到着したときに入っていたものと同じ ESD 防止袋およびパッケージを使用してください。ESD 防止袋は折り重ね、テープで留めます。また新品の部品が到着したときに入っていた元の箱で、まったく同じ発砲梱包材を使用してください。ESD に敏感なデバイスは、ESD 保護された作業面でのみパッケージから取り出します。袋の内側のみシールドされているため、ESD 防止袋の上面に部品を置かないでください。パーツは、必ず、手で持つか、ESD マットの上、システム内、または静電気防止バッグの中に置きます。
- 敏感なコンポーネントの輸送 - 交換部品またはデルに返送する部品など、ESD に敏感なコンポーネントを輸送する場合は、安全輸送用の静電気防止袋にこれらの部品を入れることが重要です。

ESD 保護の概要

すべてのフィールドサービスエンジニアには、デル製品のサービスを行う際、常に従来の有線 ESD 静電気防止用リストバンドと静電気防止保護マットを使用することが推奨されています。また、技術者はサービス実施中には敏感なパーツをすべてのインシュレータパーツから分けること、敏感なコンポーネントの輸送には静電気防止バッグを使用することが非常に重要です。

Identifier	GUID-81BAD3E4-8F4C-4AA5-8218-A0C9F215A693
Version	1
Status	Translation approved

敏感なコンポーネントの輸送

交換部品またはデルに返送する部品など、ESD に敏感なコンポーネントを輸送する場合は、安全輸送用の静電気防止袋にこれらの部品を入れることが重要です。

装置の持ち上げ

重い装置を持ち上げる際は、次のガイドラインに従います。

注意: 50 ポンドより大きいものを持ち上げないでください。必ず他の人に協力してもらるか、機械式リフト装置を使用してください。

- バランスの取れた足場を確保します。足を開いて安定させ、つま先を外に向けます。
- 腹筋を締めます。腹筋は、持ち上げる際に背骨を支え、負荷の力を弱めます。
- 背中ではなく、脚を使って持ち上げます。
- 荷を身体に近づけます。背骨に近づけるほど、背中に及ぶ力が減ります。
- 荷を持ち上げるときも置くときも、背中をまっすぐにします。荷に体重を掛けないでください。身体と背中をねじらないようにしてください。
- 反対に荷を置くときも、同じ手法に従ってください。

Identifier	GUID-D26F02D2-BF63-4793-B6F0-E1EC517FAA4B
Version	1
Status	Translation approved

シンクライアントで作業を行った後に

このタスクについて

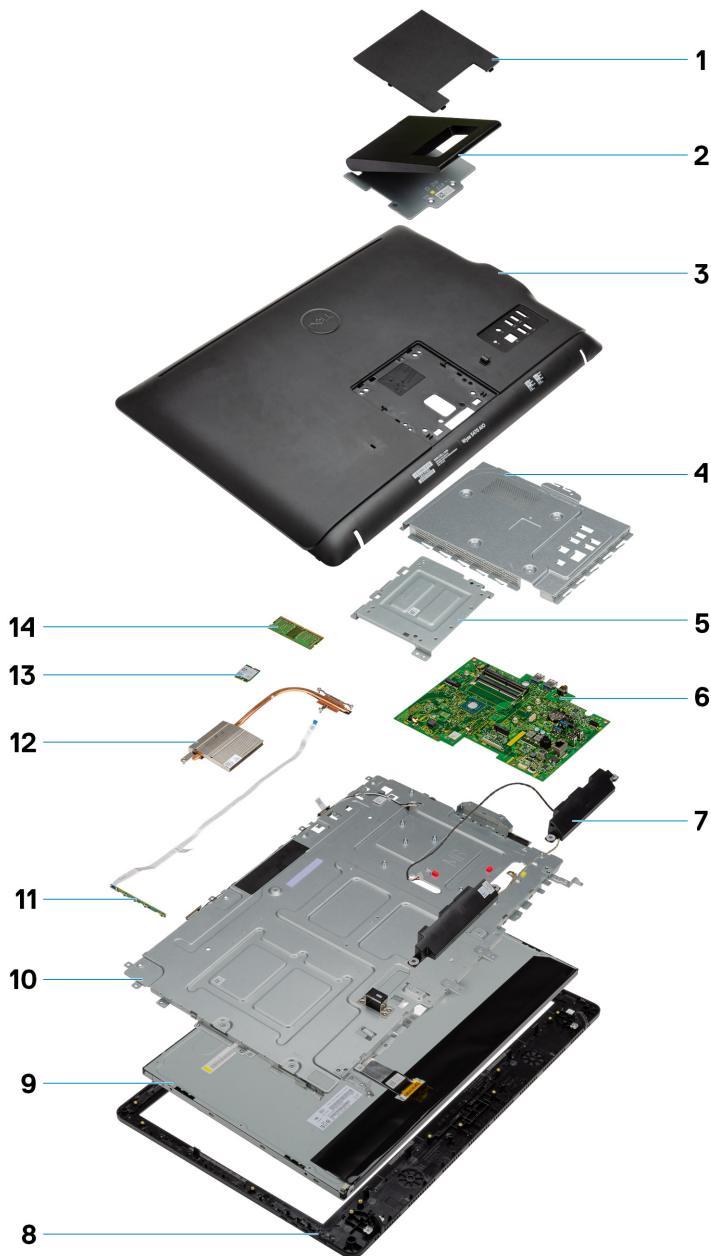
注意: シンクライアント内部に外れたネジやゆるんだネジを残さないでください。シンクライアントが損傷する場合があります。

手順

- すべてのネジを取り付けて、シンクライアント内部に外れたネジが残っていないことを確認します。
- シンクライアントでの作業を始める前に、取り外したすべての外付けデバイス、周辺機器、ケーブルを接続します。
- シンクライアント、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントに接続します。
- シンクライアントの電源をオンにします。

Identifier	GUID-69C66607-CF04-4E8A-904B-DB1C2E852DBF
Version	1
Status	Translation in review

シンクライアントの主要コンポーネント



1. スタンド カバー
3. 背面カバー
5. VESA マウント ブラケット
7. スピーカー
9. LCD
11. オンスクリーン ディスプレイ ボード

2. スタンド
4. ベース パネル
6. システム基板
8. ディスプレイパネル
10. ミドル フレーム
12. ヒート シンク

i **メモ:** デルでは、購入した元のシステム構成のコンポーネントとパーツ番号のリストを提供しています。これらのパーツは、お客様が購入した保証の範囲に応じて入手可能です。購入オプションについては、デルの販売担当者にお問い合わせください。

Identifier	GUID-9905280E-67FB-43E8-8374-046E3FBD3E9E
Version	1
Status	Translation approved

コンポーネントの取り外しと取り付け

Identifier	GUID-53DCD661-8CAC-4093-8D23-EBA36AB5CF78
Version	1
Status	Translation approved

推奨ツール










本マニュアルの手順には以下のツールが必要です。















- ・ プラスドライバー：#0、#1、および #2
- ・ プラスチックスクライブ

Identifier	GUID-5EC58097-68AC-4271-9470-A87B001105D
Version	1
Status	Translation approved

ネジの一覧

表 1. Wyse 5470 All-in-One

コンポーネント	ネジのタイプ	数	ネジの画像
ケーブルカバー	M3x9	1	
システム基板シールド	M3x5	5	
ソリッドステートドライブ/インテル Optane カード	M2x2.5	1	
WLAN カード シールド	M2x2.5	2	
WLAN カード	M2x2.5	1	
システムファン	M3 x5	3	
ポップアップカメラ アセンブリ	M3x5	2	
ポップアップカメラ ベゼル	M3x5	5	
ベースカバー	M3x5	4	

コンポーネント	ネジのタイプ	数	ネジの画像
PSU ケーブル	M3x5	1	
電源装置ユニット (PSU)	M3x5	1	
電源装置ユニット ファン (PSU ファン)	M3x5	2	
入出力ブラケット	M3x5	3	
システム基板	M3x5	9	
スピーカー	M3 4+7.1 XZN	4	
電源ボタン基板	M3x5	1	
マイク	M2x2.5	2	
入出力基板シールド	M3x5	2	
入出力基板	M2.5x3.5	2	
ヘッドセットポート	M3x5	1	
アンテナ	M2x2.5	2	
ディスプレイパネル	M3x5	8	
ミドル フレーム	M3x5	11	

Identifier	GUID-B231A36F-DE09-41AC-869E-B65E95CE372C
Version	1
Status	Translation approved

スタンド

Identifier	GUID-9B5DCBE8-CA70-4E23-9BB4-78E5EF41FBFA
Version	1
Status	Translation approved

イーゼル スタンドの取り外し

前提条件

「シンクライアントでの作業前」の手順に従います。

このタスクについて

次の画像は、スタンドの位置と取り外し手順を示しています。





手順

1. プラスチック スクライブを使用して、スタンド カバーを持ち上げて背面カバーから取り外します。
2. スタンドカバーをスライドさせて、背面カバーから取り外します。
3. イーゼル スタンドをスタンド ブラケットに固定している 2 本のネジ (M4x8) を外し、スタンドを持ち上げて背面カバーから取り外します。

Identifier	GUID-DC74C665-0780-463C-954F-6CF8590E9161
Version	1
Status	Translation approved

イーゼル スタンドの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合は、取り付け手順を実行する前に既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の画像は、イーゼル スタンドの位置と取り付け手順を示しています。





手順

1. スタンド ブラケットのネジ穴をイーゼル スタンドのネジ穴に合わせます。
2. 2本のネジ (M4x8) を締めてイーゼル スタンドをシャーシに固定します。
3. スタンド カバーをスライドさせてスタンド ブラケットに取り付けます。

Identifier	GUID-7FC79306-F78A-4294-91B6-9EA3C339AD67
Version	1
Status	Translation approved

背面カバー

Identifier	GUID-D7800113-2BA6-4030-937A-0926A4894730
Version	1
Status	Translation approved

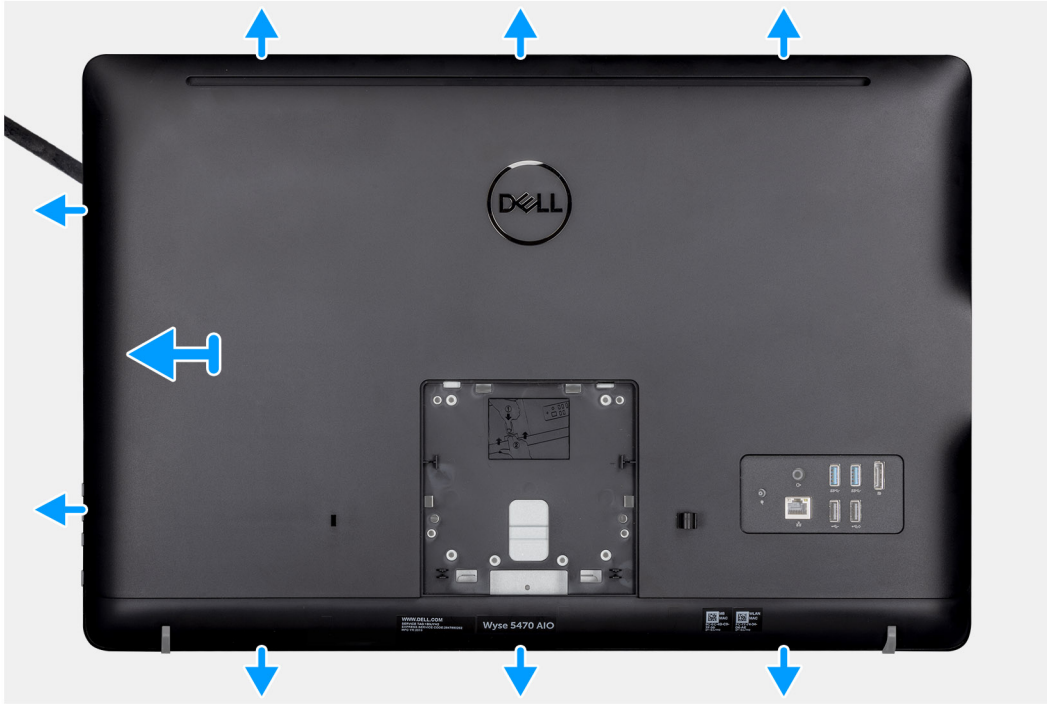
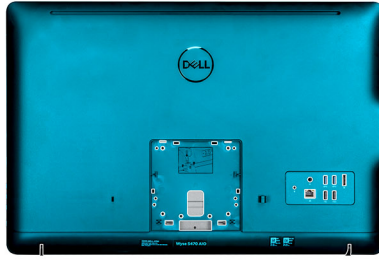
背面カバーの取り外し

前提条件

1. 「シンクライアントでの作業前」の手順に従います。
2. スタンドを取り外します。

このタスクについて

次の画像は、背面カバーの位置と取り外し手順を示しています。



手順

1. スク라이ブを使用して、背面カバーをシャーシから外します。
2. スクライブを使用して、シンクライアントの周りのすべての切り込みがロック解除されていることを確認します。
3. 背面カバーを持ち上げて、シンクライアントから取り外します。

Identifier	GUID-12377F6A-4688-4BB7-AE99-B979763366F5
Version	2
Status	Translation approved

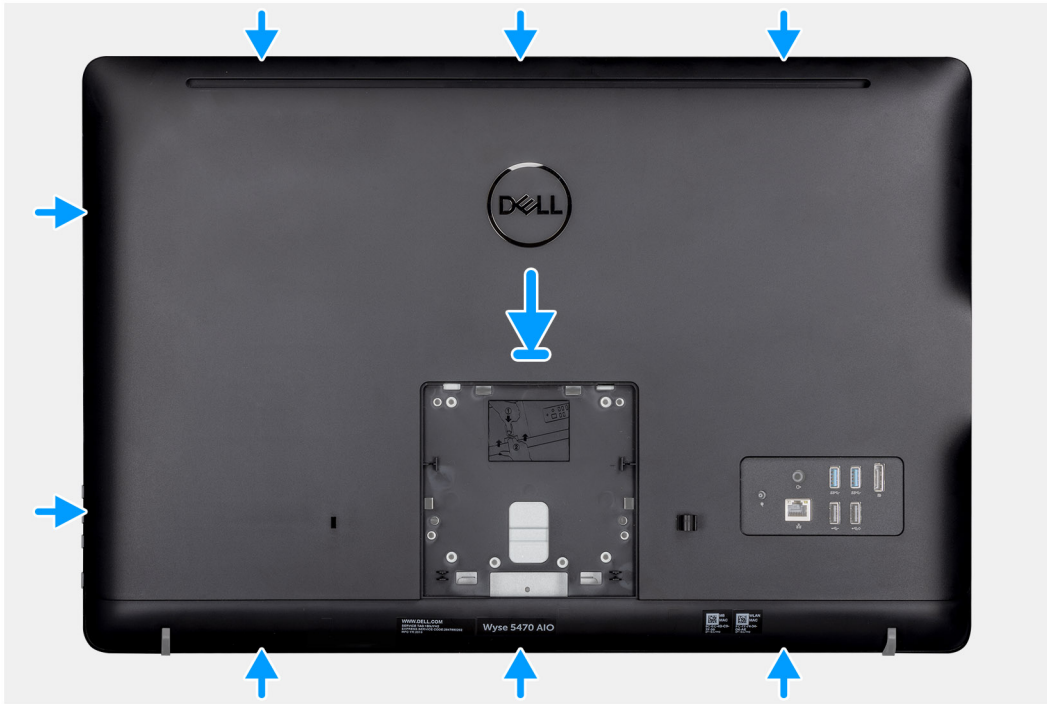
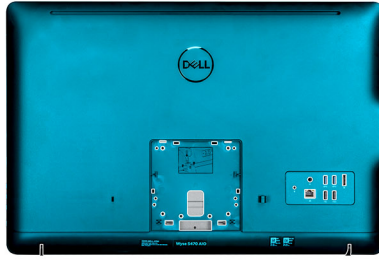
背面カバーの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合は、取り付け手順を実行する前に既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の画像は、背面カバーの位置と取り付け手順を示しています。



手順

1. 背面カバーをシステムのシャーシ上に置きます。
2. 背面カバーの切り込みとシャーシのスロットの位置を合わせます。
3. 背面カバーをシステムのシャーシに押し込み、すべてのロックが所定の位置に固定されていることを確認します。

次の手順

1. [スタンド](#)を取り付けます。
2. 「[シンクライアントでの作業後](#)」の手順に従います。

Identifier	GUID-BE7C60A9-701B-4329-94C8-8D96EF58DF4D
Version	1
Status	Translation approved

VESA マウント ブラケット

Identifier	GUID-5D33926A-7580-4D6C-BF98-5DD446D9E012
Version	1
Status	Translation approved

VESA マウントブラケットの取り外し

前提条件

1. 「[シンクライアントでの作業前](#)」の手順に従います。

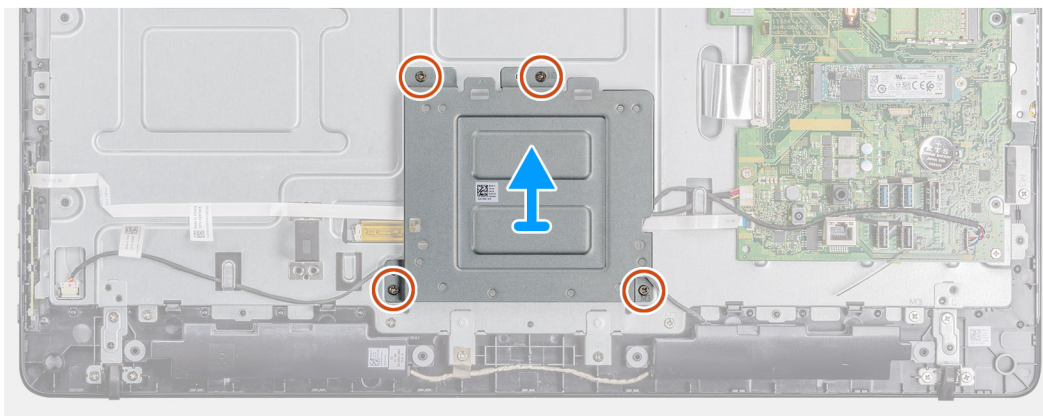
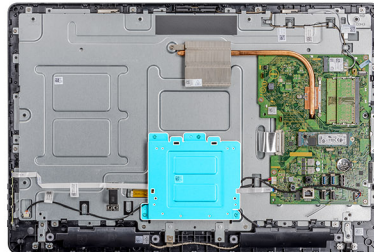
2. スタンドを取り外します。
3. 背面カバーを取り外します。

このタスクについて

次の画像は、VESA マウント ブラケットの位置と取り外し手順を示しています。



4x
M3x5



手順

1. VESA マウント ブラケットをミドル カバーに固定している 4 本のネジ (M3x5) を外します。
2. VESA マウントブラケットを持ち上げてミドルカバーから取り外します。
3. VESA マウントブラケットのスピーカーケーブルの配線をメモして、配線ガイドから取り外します。

Identifier	GUID-D8CF6448-F8D8-4AFF-82E5-C42CA989A789
Version	1
Status	Translation approved

VESA マウント ブラケットの取り付け

前提条件

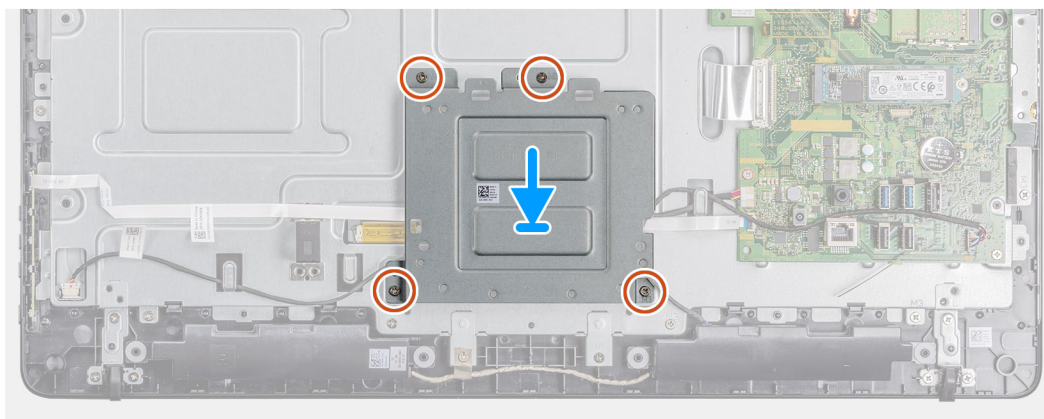
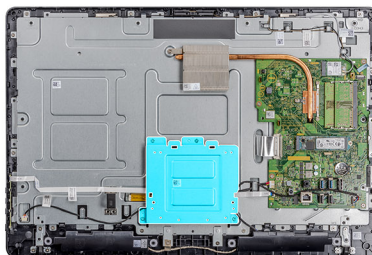
コンポーネントを交換する場合は、取り付け手順を実行する前に既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の画像は、VESA マウント ブラケットの位置と取り付け手順を示しています。



4x
M3x5



手順

1. VESA マウントブラケットのネジ穴をミドルフレームのネジ穴に合わせます。
2. VESA マウント ブラケットをミドル フレームに固定する 4 本のネジ (M3x5) を取り付けます。
3. スピーカーケーブルを、VESA マウントブラケットの配線ガイドに沿って配線します。

次の手順

1. 背面カバーを取り付けます。
2. スタンドを取り付けます。
3. 「シンクライアントでの作業後」の手順に従います。

Identifier	GUID-CD9495D5-203D-4185-A255-AA24FCB97D01
Version	1
Status	Translation approved

オンスクリーン ディスプレイ ボード

Identifier	GUID-1577A58B-A3CC-4E1A-9A63-27FE54D86C99
Version	1
Status	Translation approved

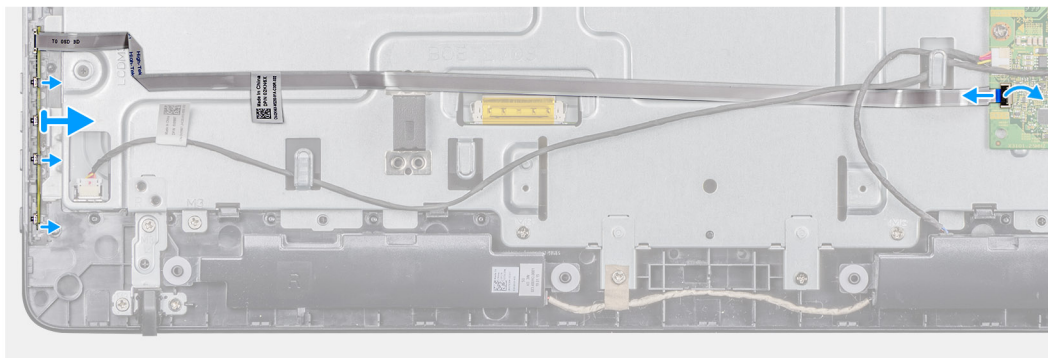
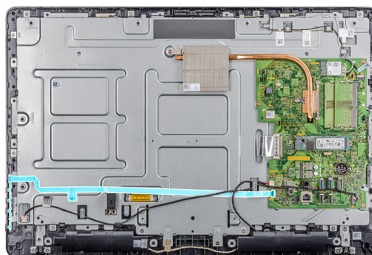
OSD ボードの取り外し

前提条件

1. 「シンクライアントでの作業前」の手順に従います。
2. スタンドを取り外します。
3. 背面カバーを取り外します。
4. VESA マウントブラケットを取り外します。

このタスクについて

次の画像は、OSD ボードの位置と取り外し手順を示しています。



手順

1. ラッチを開き、ケーブルをシステム基板から外します。
2. OSD ケーブルをミドル フレームから外します。
3. 固定クリップをコントロール ボタン ボードから外し、OSD ボードを持ち上げてスロットから取り外します。

Identifier	GUID-65D61B44-F3B0-4154-9E31-174A94B4FCB9
Version	1
Status	Translation approved

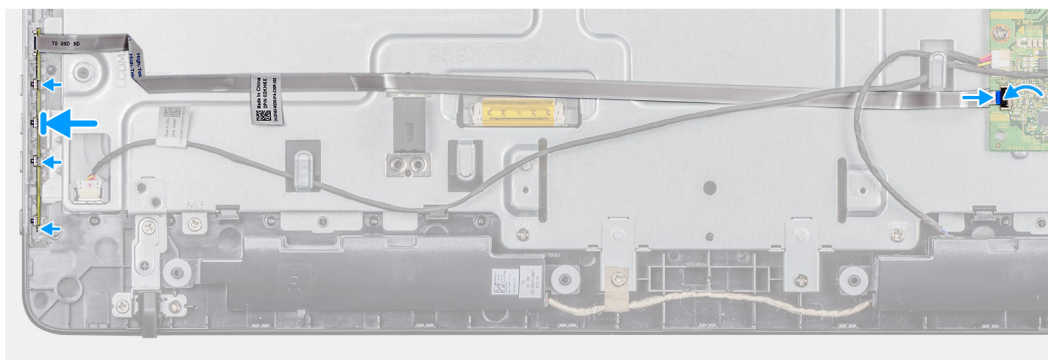
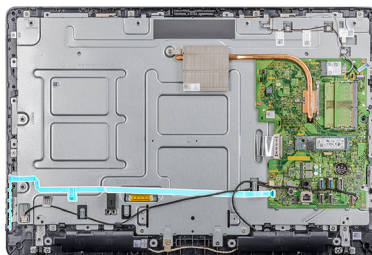
OSD ボードの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合は、取り付け手順を実行する前に既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の画像は、OSD ボードの位置と取り付け手順を示しています。



手順

1. 固定クリップを離し、ディスプレイ ベゼルにロックされるまで OSD ボードを押し込みます。
2. OSD 基板ケーブルをミドル フレームに固定するテープを貼り付けます。
3. ケーブルをシステム基板のコネクターに接続します。
4. ラッチを閉じてケーブルを固定します。

次の手順

1. VESA マウント ブラケットを取り付けます。
2. 背面カバーを取り付けます。
3. スタンドを取り付けます。
4. 「シンククライアントでの作業後」の手順に従います。

Identifier	GUID-2EE6811C-B859-4659-B7C0-FEF1B8A677F0
Version	1
Status	Translation approved

ソリッドステートドライブ

Identifier	GUID-8D978F2F-0FE7-402F-B7CD-FA563D6035DE
Version	1
Status	Translation approved

ソリッドステートドライブの取り外し

前提条件

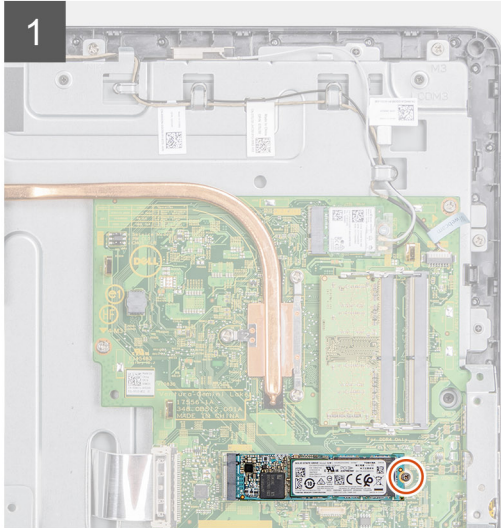
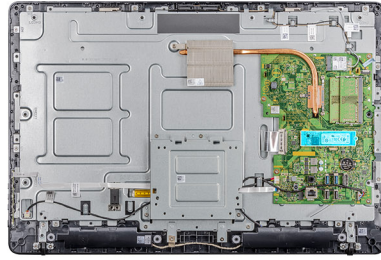
1. 「シンククライアントでの作業前」の手順に従います。
2. スタンドを取り外します。
3. 背面カバーを取り外します。

このタスクについて

次の画像は、ソリッドステートドライブの場所と取り外し手順を示しています。



1x
M2x3.5



手順

1. ソリッドステート ドライブ カードをシステム基板に固定しているネジ (M2x3.5) を外します。
2. システム基板のソリッドステート ドライブ スロットからソリッドステート ドライブを引き出します。

Identifier	GUID-D9A2CCF5-583B-489C-BEF8-CE1986D8B597
Version	1
Status	Translation approved

ソリッドステートドライブの取り付け

前提条件

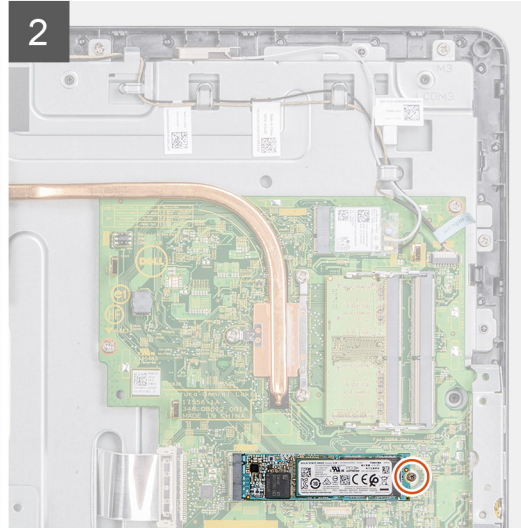
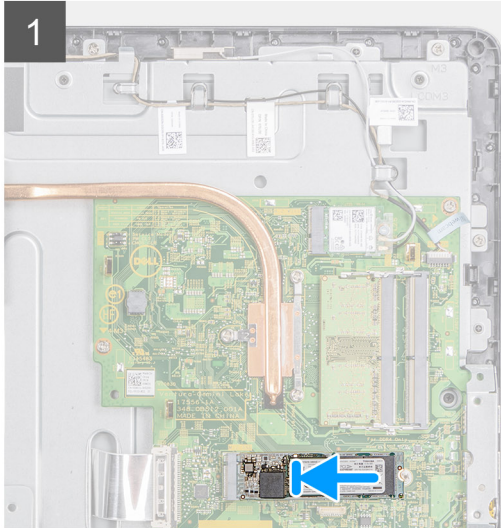
コンポーネントを交換する場合は、取り付け手順を実行する前に既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の画像は、ソリッドステート ドライブの場所と取り付け手順を示しています。



1x
M2x3.5



手順

1. ソリッドステートドライブの切り込みをソリッドステートドライブスロットのタブに合わせて、ソリッドステートドライブをシステム基板上のソリッドステートドライブスロットに差し込みます。
2. ソリッドステートドライブをシステム基板に固定するネジ (M2x3.5) を取り付けます。

次の手順

1. 背面カバーを取り付けます。
2. スタンドを取り付けます。
3. 「シンクライアントでの作業後」の手順に従います。

Identifier	GUID-29D7D1AB-DFD9-44E4-A03B-F477F599C761
Version	1
Status	Translation approved

メモリモジュール

Identifier	GUID-B1549E9A-1368-4AE9-9FAD-98A92260E4A1
Version	1
Status	Translation approved

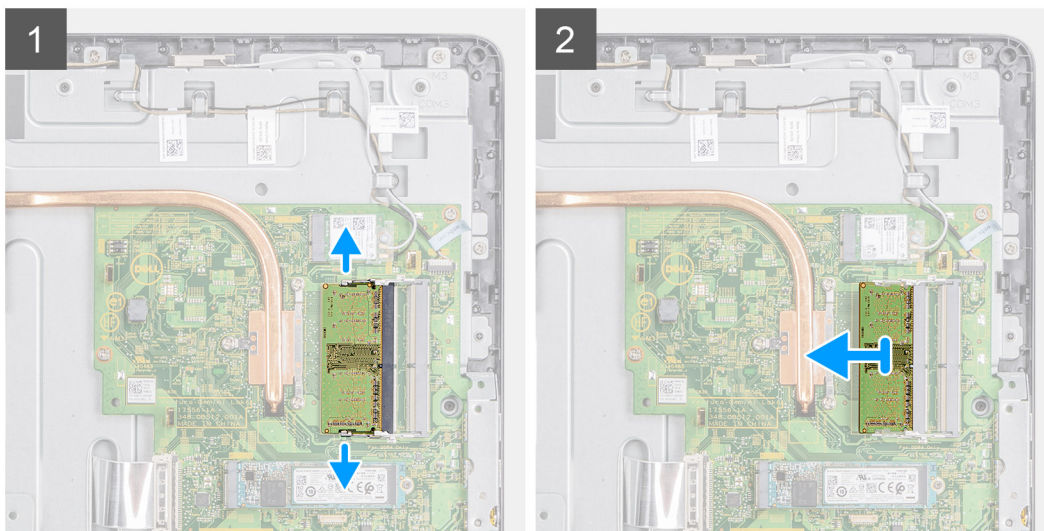
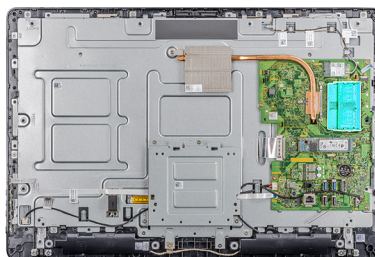
メモリモジュールの取り外し

前提条件

1. 「シンクライアントでの作業前」の手順に従います。
2. スタンドを取り外します。
3. 背面カバーを取り外します。

このタスクについて

次の画像は、メモリーモジュールの位置と取り外し手順を示しています。



手順

1. メモリモジュールスロットの両端にある固定クリップを、メモリモジュールが持ち上がるまで指先で慎重に広げます。
2. メモリモジュールをスライドさせて、メモリモジュールスロットから取り外します。

Identifier	GUID-B16E0C0A-752E-43BE-81DD-EE702BF0E653
Version	1
Status	Translation approved

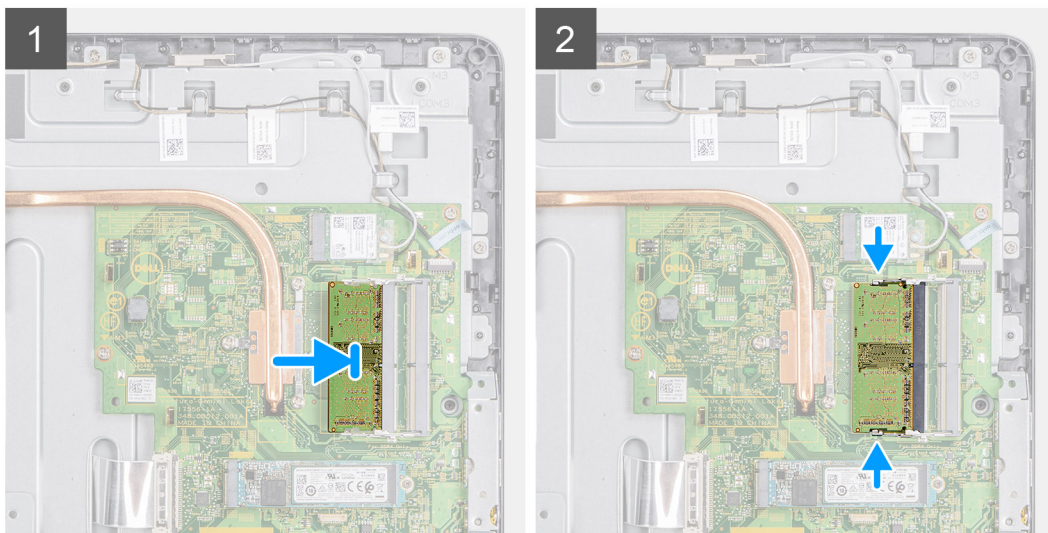
メモリモジュールの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合は、取り付け手順を実行する前に既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の画像は、メモリーモジュールの位置と取り付け手順を示しています。



手順

1. メモリモジュールの切り込みをメモリモジュールスロットのタブに合わせます。
2. メモリモジュールを斜めにしてスロットにしっかりと差し込み、所定の位置にカチッと収まるまでメモリモジュールを押し込みます。

次の手順

1. 背面カバーを取り付けます。
2. スタンドを取り付けます。
3. 「シンクライアントでの作業後」の手順に従います。

Identifier	GUID-83998E45-22E0-44BE-A418-D35205468F97
Version	1
Status	Translation approved

ワイヤレス カード

Identifier	GUID-D8012D1D-B59D-41F9-8E93-30032458544A
Version	2
Status	Translation approved

ワイヤレス カードの取り外し

前提条件

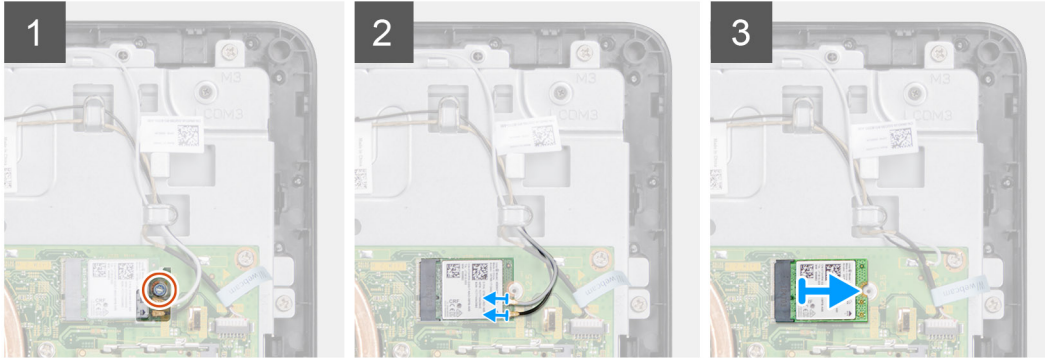
1. 「シンクライアントでの作業前」の手順に従います。
2. スタンドを取り外します。
3. 背面カバーを取り外します。

このタスクについて

次の画像は、ワイヤレスカードの位置と取り外し手順を示しています。



1x
M2x3.5



手順

1. ワイヤレスカード ブラケットとワイヤレスカードをシステム基板に固定しているネジ (M2x3.5) を外します。
2. ワイヤレスカード ブラケットをスライドさせてワイヤレスカードから外します。
3. アンテナケーブルをワイヤレスカードから外します。
4. ワイヤレスカード スロットからワイヤレスカードをスライドさせます。

Identifier	GUID-612E3545-D4C1-4EB2-8C5A-5FD909730440
Version	2
Status	Translation approved

ワイヤレスカードの取り付け

前提条件

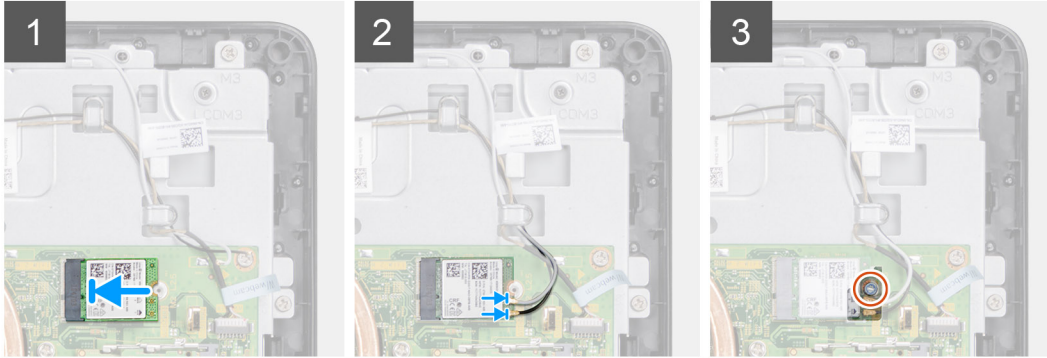
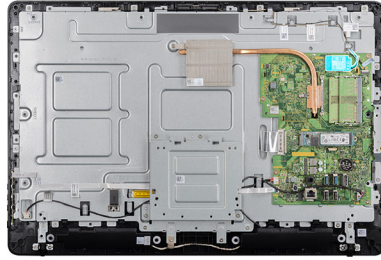
コンポーネントを交換する場合は、取り付け手順を実行する前に既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の画像は、ワイヤレスカードの位置と取り付け手順を示しています。



1x
M2x3.5



手順

1. ワイヤレスカードの切込みをワイヤレスカードスロットのタブに合わせて、カードをスロットに差し込みます。
2. アンテナケーブルをワイヤレスカードに接続します。
3. ワイヤレスカードブラケットをワイヤレスカード上にスライドさせます。
4. ワイヤレスカードブラケットのネジ穴をワイヤレスカードのネジ穴に合わせます。
5. ワイヤレスカードブラケットとワイヤレスカードをシステム基板に固定するネジ (M2x3.5) を取り付けます。

次の手順

1. **背面カバー**を取り付けます。
2. **スタンド**を取り付けます。
3. 「**シンクライアントでの作業後**」の手順に従います。

Identifier	GUID-79366CAD-7633-4E2F-9D60-7C112E37E356
Version	1
Status	Translation approved

ヒートシンク

Identifier	GUID-99C2B079-3E88-4C9E-9FA5-26DFB32733EC
Version	1
Status	Translation approved

ヒートシンクの取り外し

前提条件

1. 「**シンクライアントでの作業前**」の手順に従います。
2. **スタンド**を取り外します。
3. **背面カバー**を取り外します。

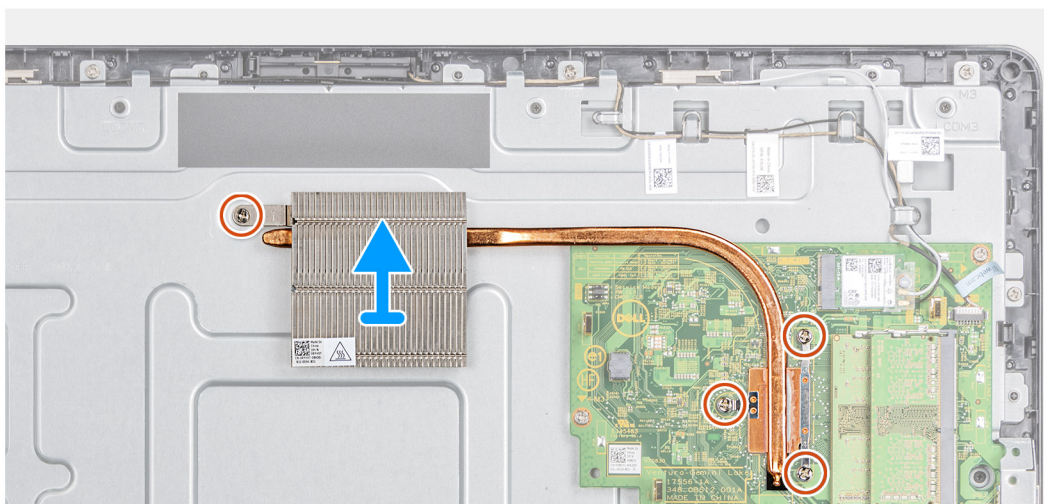
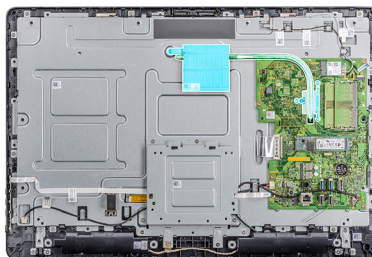
このタスクについて

次の画像は、ワイヤレスカードの位置と取り外し手順を示しています。

メモ: ご注文の構成によっては、ネジの数とヒートシンクアセンブリの外観が異なる場合があります。



4x
M3x7



手順

1. ヒートシンクに書かれている数字の順に、ヒートシンクをシステム基板に固定している4本の拘束ネジ (M3x7) を緩めます。
2. ヒートシンクを持ち上げて、システム基板から取り外します。

Identifier	GUID-1D06A649-E8B8-46A6-875E-FD844FDC3089
Version	1
Status	Translation approved

ヒートシンクの取り付け

前提条件

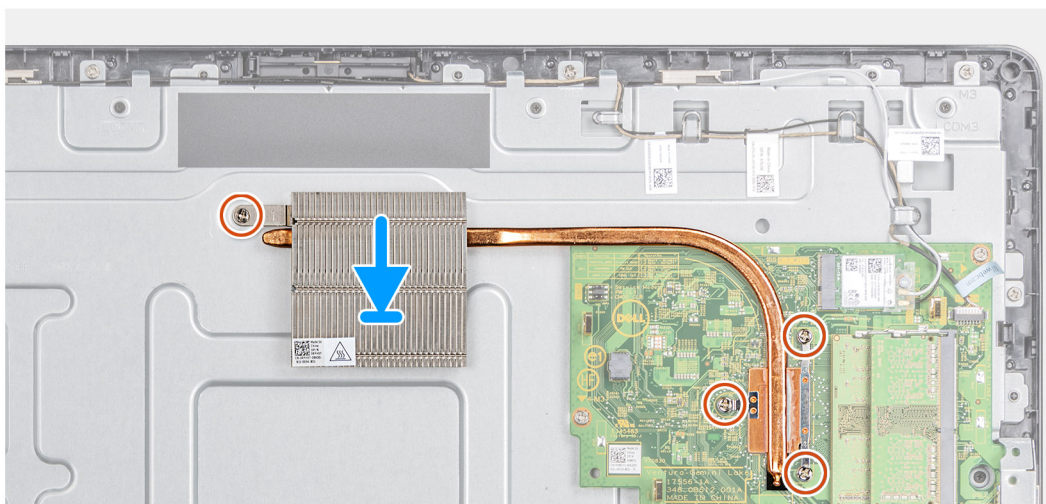
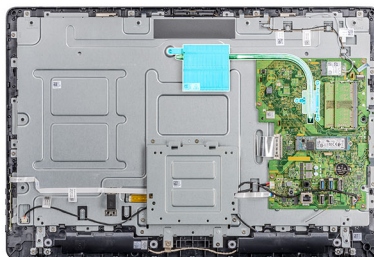
コンポーネントを交換する場合は、取り付け手順を実行する前に既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の画像は、ヒートシンクの位置と取り付け手順を示しています。



4x
M3x7



手順

1. ヒートシンクの拘束ネジをシステム基板のネジ穴に合わせます。
2. ヒートシンクに書かれている数字の順に、ヒートシンクをシステム基板に固定する4本の拘束ネジ (M3x7) を締めます。

次の手順

1. [背面カバー](#)を取り付けます。
2. [スタンド](#)を取り付けます。
3. 「[シンククライアントでの作業後](#)」の手順に従います。

Identifier	GUID-00980BAD-F1E0-4DCB-BB78-A2EF1F6428D4
Version	1
Status	Translation approved

コイン型電池

Identifier	GUID-80590E19-64E2-410E-8D53-6C853EC2357F
Version	2
Status	Translation approved

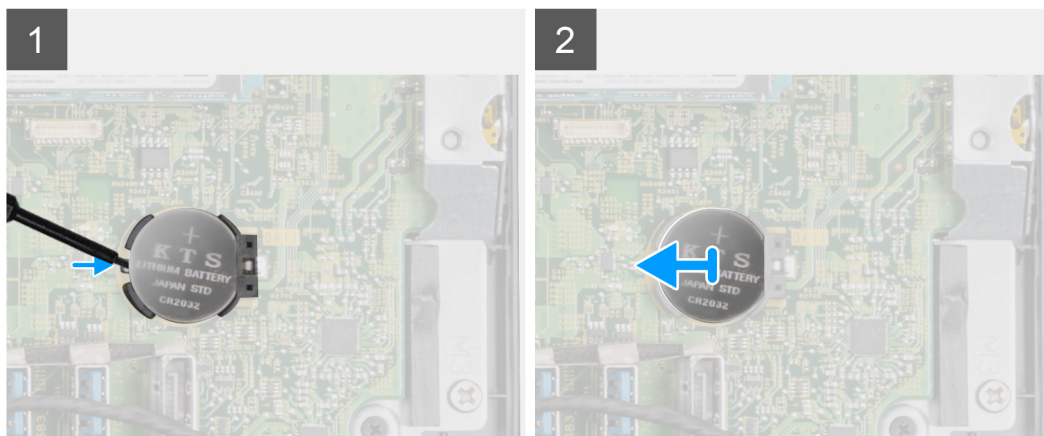
コイン型電池の取り外し

前提条件

1. 「[シンククライアントでの作業前](#)」の手順に従います。
2. [スタンド](#)を取り外します。
3. [背面カバー](#)を取り外します。

このタスクについて

次の画像は、コイン型電池の位置と取り外し手順を示しています。



手順

1. スクリューを使用して、コイン型電池を持ち上げます。
2. ホルダーからコイン型電池を取り外します。

Identifier	GUID-D14A9191-AD5C-42F2-9951-CE0D985F432C
Version	2
Status	Translation approved

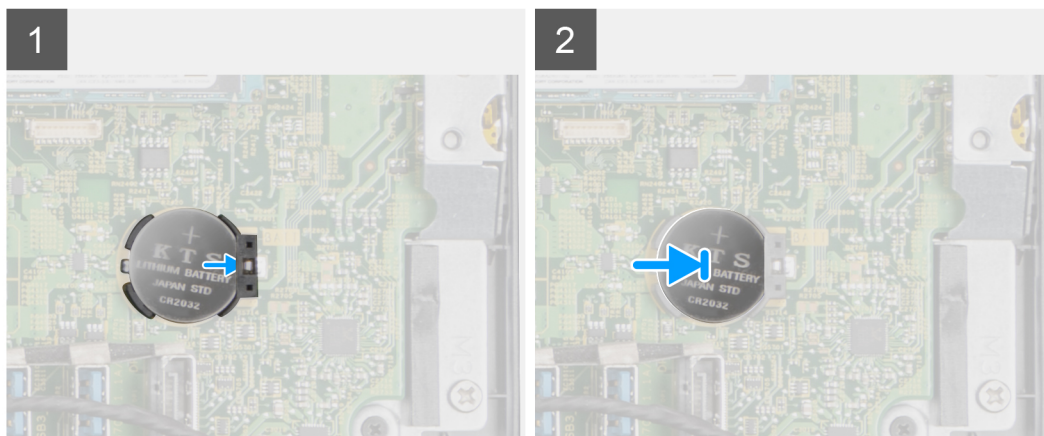
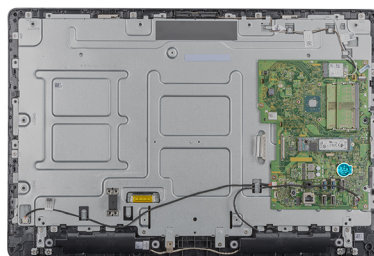
コイン型電池の取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合は、取り付け手順を実行する前に既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の画像は、コイン型電池の位置と取り付け手順を示しています。



手順

コイン型電池をホルダーに差し込み、カチッと所定の位置に収まるまで押し込みます。

次の手順

1. [背面カバー](#)を取り付けます。
2. [スタンド](#)を取り付けます。
3. 「[シンクライアントでの作業後](#)」の手順に従います。

Identifier	GUID-D31C6BB0-B5A9-4F2E-A9DA-40785D9071D2
Version	1
Status	Translation approved

カメラ

Identifier	GUID-2650CB29-4A73-4FC0-90DE-ABE9CF9371C8
Version	2
Status	Translation approved

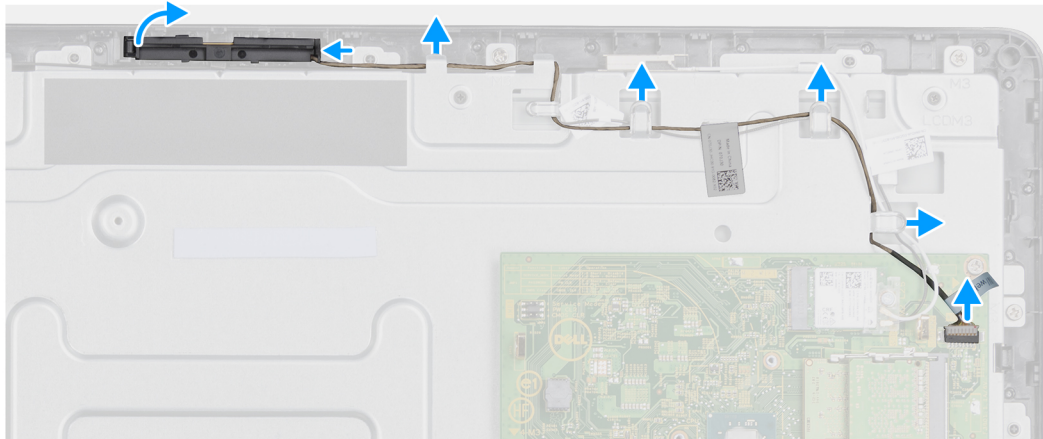
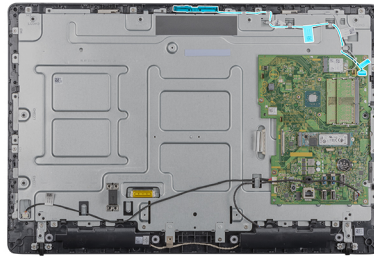
カメラの取り外し

前提条件

1. 「[シンクライアントでの作業前](#)」の手順に従います。
2. [スタンド](#)を取り外します。
3. [背面カバー](#)を取り外します。

このタスクについて

次の画像は、カメラの位置と取り外し手順を示しています。



手順

1. アンテナケーブル、マイクケーブル、カメラケーブルの配線をメモして、ディスプレイベゼルとミドルカバーの配線ガイドからケーブルを外します。
2. 指先を使って固定クリップを押し、カメラアセンブリを持ち上げます。
3. カメラケーブルをカメラから取り外します。
4. カメラアセンブリをディスプレイベゼルのタブから外します。

Identifier	GUID-31700C5B-4D1B-4151-8027-513FBA269802
Version	2
Status	Translation approved

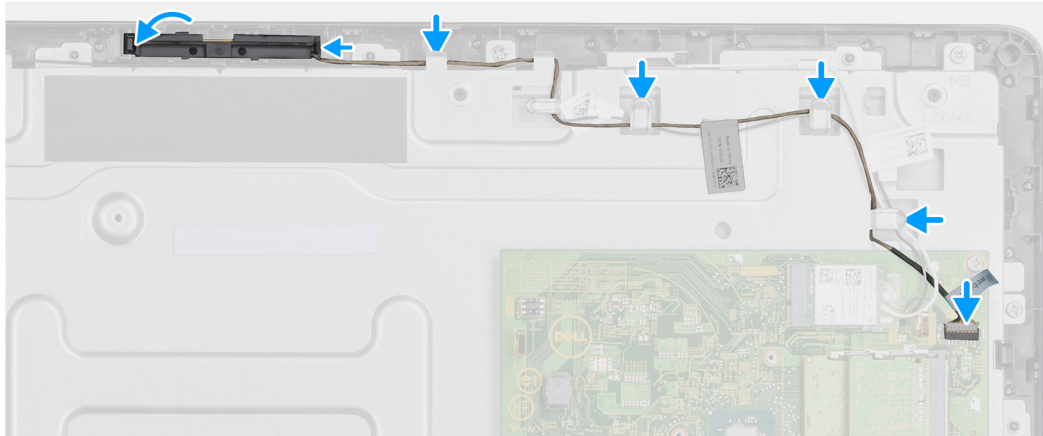
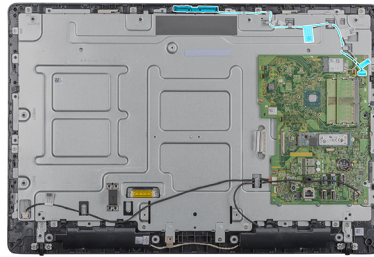
カメラの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合は、取り付け手順を実行する前に既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の画像は、カメラの位置と取り付け手順を示しています。



手順

1. カメラ ケーブルをシステム基板のコネクター ポートに接続します。
2. カメラ アセンブリーをディスプレイ ベゼルのタブに接続します。
3. 固定クリップが所定の位置にロックされるまで、カメラ アセンブリーをディスプレイ ベゼルのスロットに押し込みます。
4. カメラ ケーブルをミドル フレームおよびディスプレイベゼルの配線ガイドに沿って配線します。

次の手順

1. 背面カバーを取り付けます。
2. スタンドを取り付けます。
3. 「シンクライアントでの作業後」の手順に従います。

Identifier	GUID-8F575566-D95A-430A-B4BE-4D09D362ADED
Version	1
Status	Translation approved

システム基板

Identifier	GUID-17E0D263-2E96-4D6F-8B71-E8FADAB5B8F1
Version	2
Status	Translation approved

システム基板の取り外し

前提条件

1. 「シンクライアントでの作業前」の手順に従います。
2. スタンドを取り外します。
3. 背面カバーを取り外します。
4. VESA マウントを取り外します。
5. メモリー モジュールを取り外します。
6. ソリッドステート ドライブを取り外します。
7. WLAN カードを取り外します。

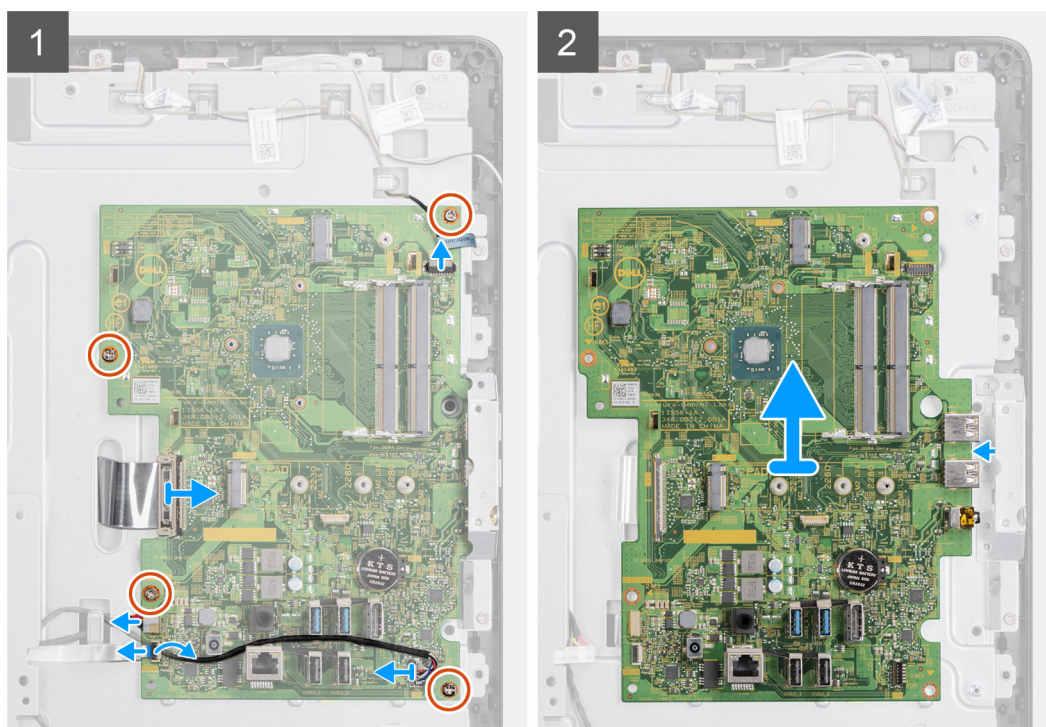
8. ヒートシンクを取り外します。

このタスクについて

次の画像は、システム基板の位置と取り外し手順を示しています。



4x
M3x5



手順

1. カメラ ケーブル、スピーカー ケーブル、OSD ボード ケーブル、コンバーター ケーブルをシステム基板から外します。
2. ヒートシンクをシステム基板から取り外します。
3. OSD 基板ケーブルをシステム基板に固定しているミドル フレームからテープを剥がします。
4. プルタブを使用して、ディスプレイケーブルをシステム基板から外します。
5. システム基板のメモリー モジュール スロットからメモリー モジュールを取り外します。
6. WLAN カードをシステム基板の WLAN カード スロットから取り外します。
7. システム基板をミドル フレームに固定している 4 本のネジ (M3x5) を取り外します。
8. システム基板をゆっくりと持ち上げて左に動かし、システム基板をミドル フレーム シャーシ上の USB/グローバル ヘッドセット ジャック ポート フレームから外します。

Identifier	GUID-AD2EEEA4-8DFF-4642-9124-BBD31A6A7735
Version	2
Status	Translation approved

システム基板の取り付け

前提条件

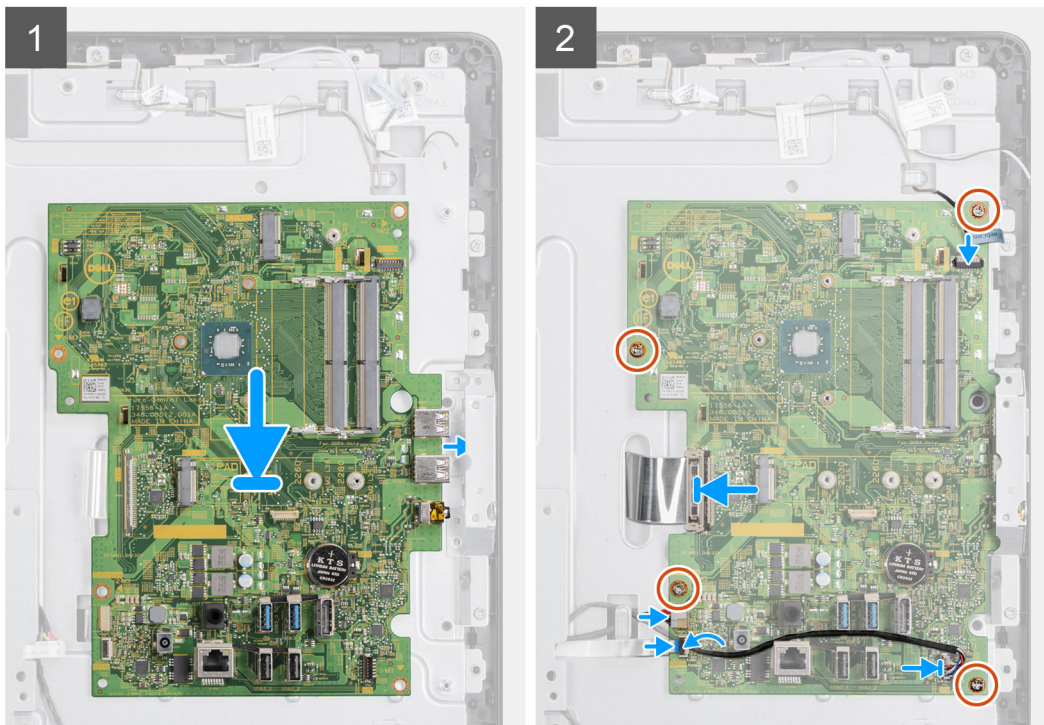
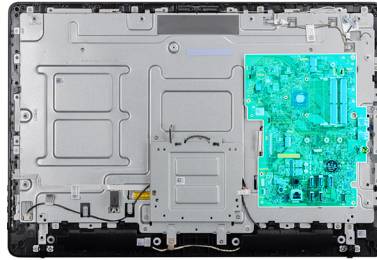
コンポーネントを交換する場合は、取り付け手順を実行する前に既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の画像は、システム基板の位置と取り付け手順を示しています。



4x
M3x5



手順

1. システム基板をミドル フレームのスロットに差し込みます。
2. システム基板のネジ穴とシャーシのネジ穴に合わせます。
3. システム基板に4本のネジ (M3x5) を取り付けます。
4. ヒートシンク アセンブリーをシステム基板に接続します。
5. コンバーター ボード ケーブルをシステム基板にしっかりと接続します。
6. オンスクリーン ディスプレイ ケーブルをシステム基板に接続し、ラッチを閉じてケーブルを固定します。
7. カメラ ケーブルをシステム基板にしっかりと接続します。
8. ディスプレイ ケーブル (LVDS) を接続し、システム基板との接続を確立します。
9. システム基板にスピーカーケーブルを接続します。

次の手順

1. ヒートシンクを取り付けます。
2. WLANカードを取り付けます。
3. ソリッドステートドライブを取り付けます。
4. メモリーモジュールを取り付けます。
5. VESAマウントを取り付けます。
6. 背面カバーを取り付けます。
7. スタンドを取り付けます。

Identifier	GUID-2D2F0F45-5C92-4888-82AA-CC5A AFC7B1F6
Version	1
Status	Translation approved

スピーカー

Identifier	GUID-D89AA04D-1C40-4A2F-BB25-58BCB9D077EC
Version	2
Status	Translation approved

スピーカーの取り外し

前提条件

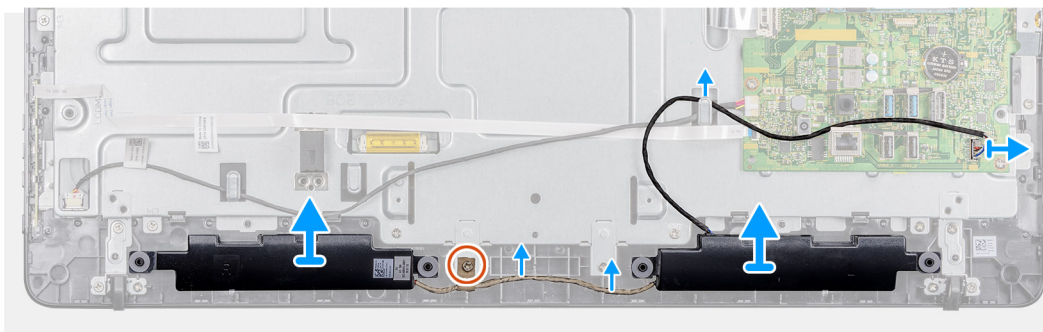
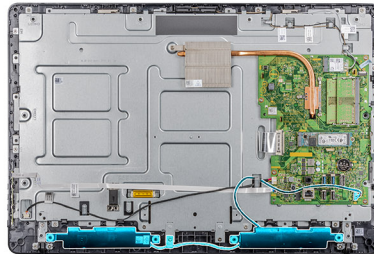
1. 「シンクライアントでの作業前」の手順に従います。
2. スタンドを取り外します。
3. 背面カバーを取り外します。

このタスクについて

次の画像は、スピーカーの位置と取り外し手順を示しています。



1x
M2x4



手順

1. システム基板からスピーカーのケーブルを外します。
2. スピーカーケーブルをVESAマウントブラケットの配線ガイドから外します。
3. ディスプレイベゼルのスピーカーケーブルの配線をメモしてから、ケーブルをミドルフレームに固定しているネジ(M3x5)を外します。
4. VESAマウントブラケットのテープを剥がします。

5. スピーカーをケーブルと一緒に持ち上げて、ディスプレイアセンブリから取り外します。

Identifier	GUID-FCD807C1-8E2D-4300-91F6-C76CA994B995
Version	2
Status	Translation approved

スピーカーの取り付け

前提条件

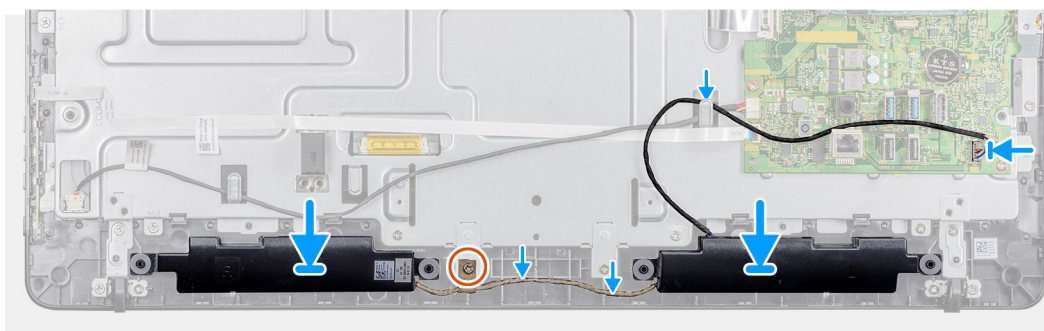
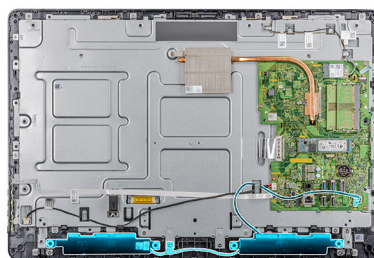
コンポーネントを交換する場合は、取り付け手順を実行する前に既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の画像は、スピーカーの位置と取り付け手順を示しています。



1x
M2x4



手順

1. 位置合わせポストを使って、スピーカーをディスプレイアセンブリにセットします。
2. スピーカーケーブルをディスプレイベゼルの配線ガイドを通して配線します。
3. スピーカーケーブルのテープを VESA マウントブラケットと配線ガイドに貼り付けます。
4. システム基板にスピーカーケーブルを接続します。

次の手順

1. [背面カバー](#)を取り付けます。
2. [スタンド](#)を取り付けます。
3. 「[シンクライアントでの作業後](#)」の手順に従います。

Identifier	GUID-82F6FB3B-F238-4E6E-9D87-8614996D044C
Version	1
Status	Translation approved

ミドル フレーム

Identifier	GUID-FEF1EB58-C831-40F1-8911-4D3427DBB477
Version	2
Status	Translation approved

ミドル フレームの取り外し

前提条件

1. 「シンククライアントでの作業前」の手順に従います。
2. スタンドを取り外します。
3. 背面カバーを取り外します。
4. VESA マウントを取り外します。
5. ソリッドステート ドライブを取り外します。
6. ワイヤレスカードを取り外します。
7. ヒート シンクを取り外します。
8. システム基板を取り外します。
9. OSD ボードを取り外します。
10. スピーカーを取り外します。

このタスクについて

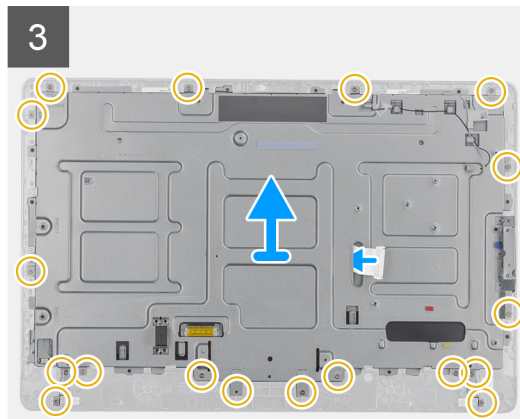
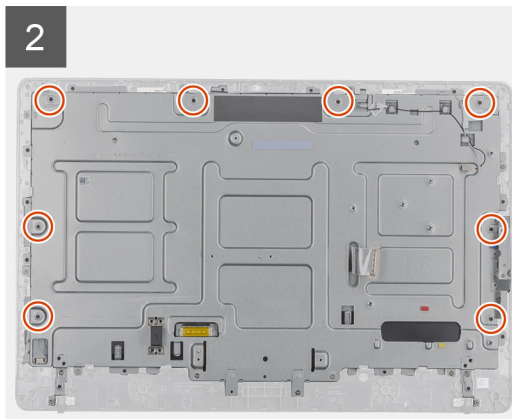
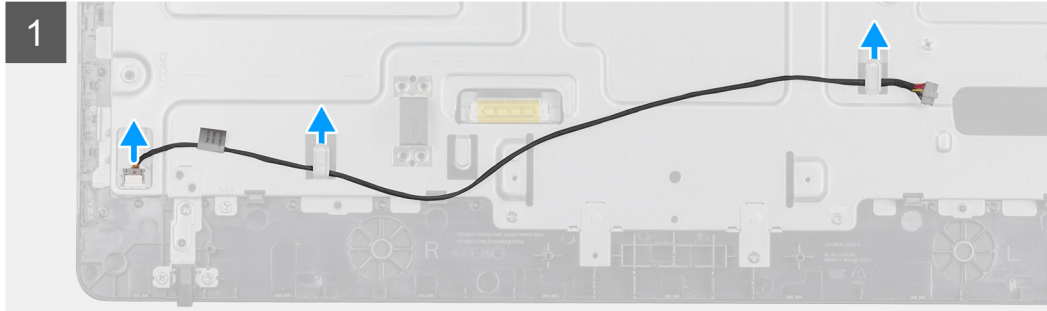
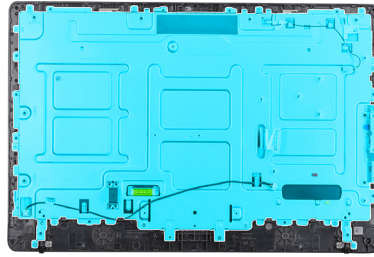
次の画像は、ミドル フレームの位置と取り外し手順を示しています。



8x
M3x3



18x
M3x5



手順

1. アンテナ、カメラ、マイクのケーブルの配線をメモしてから、ケーブルをミドル フレームの配線ガイドから外します。
2. コンバーター ボード ケーブルをディスプレイ パネルから外し、ミドル フレームから取り外します。
3. ミドル フレームをディスプレイ パネルに固定している 8 本のネジ (M3x3) を外します。
4. ミドル フレームをシャーシに固定している 18 本のネジ (M3x5) を外します。
5. ミドルカバーをディスプレイアセンブリ上のタブから外します。
6. ディスプレイケーブルをディスプレイアセンブリのスロットに通します。
7. ミドル フレームを持ち上げてシャーシから外します。

Identifier	GUID-A8A4D94B-F0FC-4204-ACC4-FF0B8DF21B80
Version	2
Status	Translation approved

ミドル フレームの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合は、取り付け手順を実行する前に既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

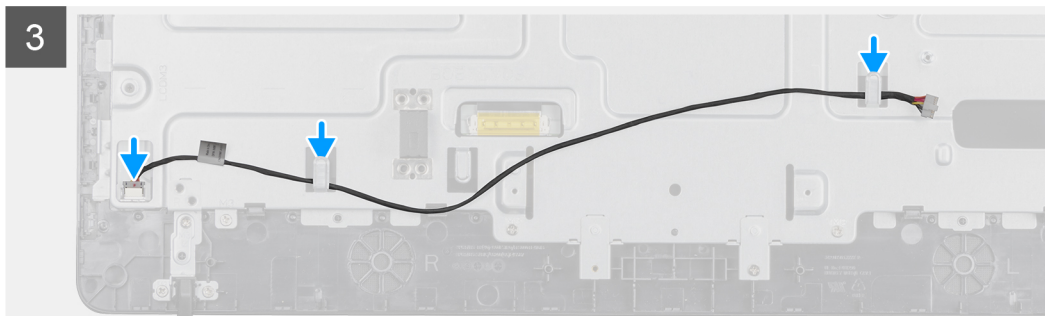
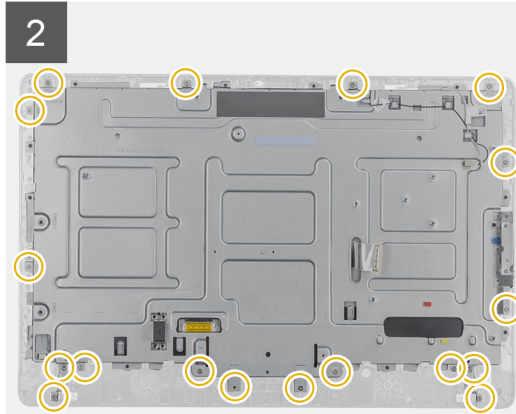
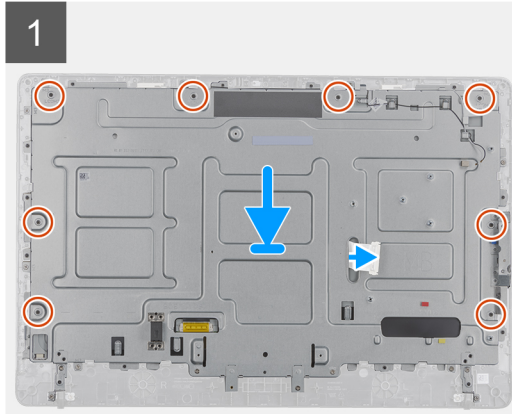
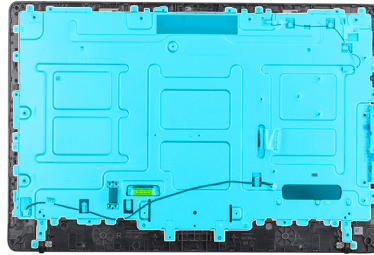
次の画像は、ミドル フレームの位置と取り付け手順を示しています。



8x
M3x3



18x
M3x5



手順

1. ミドル フレームの スロット をシャーシの スロット に合わせます。
2. ディスプレイ ケーブルをスライドさせて、ミドル フレームの スロット に通します。
3. ミドル フレームをディスプレイ アセンブリーにセットして、タブが所定の位置にロックされるまで押し下げます。
4. ミドル フレームをシャーシに固定する 18 本のネジ (M3x5) を取り付けます。
5. ミドル フレームをディスプレイ パネルに固定する 8 本のネジ (M3x3) を取り付けます。
6. コンバーター ボード ケーブルをディスプレイ パネルに接続し、ケーブルをミドル フレームに配線します。
7. アンテナ ケーブル、カメラ ケーブル、マイク ケーブルをミドル フレームの配線ガイドに配線します。

次の手順

1. [スピーカー](#) を取り付けます。
2. [VESA マウント](#) を取り付けます。
3. [システム基板](#) を取り付けます。
4. [ヒートシンク](#) を取り付けます。
5. [ワイヤレスカード](#) を取り付けます。
6. [ソリッドステートドライブ](#) を取り付けます。
7. [OSD ボード](#) を取り付けます。
8. [背面カバー](#) を取り付けます。
9. [スタンド](#) を取り付けます。
10. 「[シンククライアントでの作業後](#)」の手順に従います。

Identifier	GUID-9F3D75C2-598D-42F2-BE50-D461BA0F133C
Version	1
Status	Translation approved

ラバーフィート

Identifier	GUID-B668EBFA-F843-4279-8783-FE2BF4CBD665
Version	2
Status	Translation approved

ラバーフィートの取り外し

前提条件

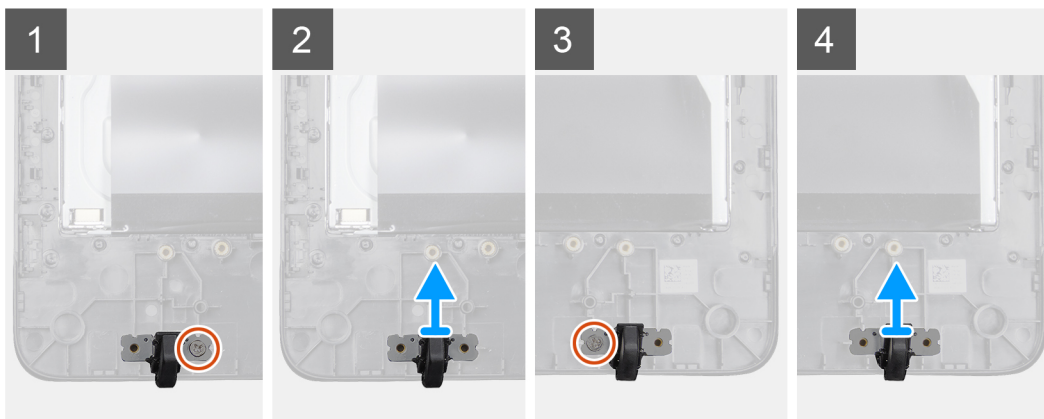
1. 「シンクライアントでの作業前」の手順に従います。
2. スタンドを取り外します。
3. 背面カバーを取り外します。
4. VESA マウントを取り外します。
5. ソリッドステートドライブを取り外します。
6. ワイヤレスカードを取り外します。
7. ヒートシンクを取り外します。
8. システム基板を取り外します。
9. スピーカーを取り外します。
10. ミドルフレームを取り外します。

このタスクについて

次の画像は、ラバーフィートの位置と取り外し手順を示しています。



4x
M2x2



手順

1. ラバーフィートをディスプレイアセンブリーに固定している2本のネジ (M3x5) を取り外します。
2. ラバーフィートを持ち上げて、ディスプレイベゼルから取り外します。

Identifier	GUID-AA9ECBE1-AE7E-438A-BCE7-C13EB7018291
Version	2
Status	Translation approved

ラバー フィートの取り付け

前提条件

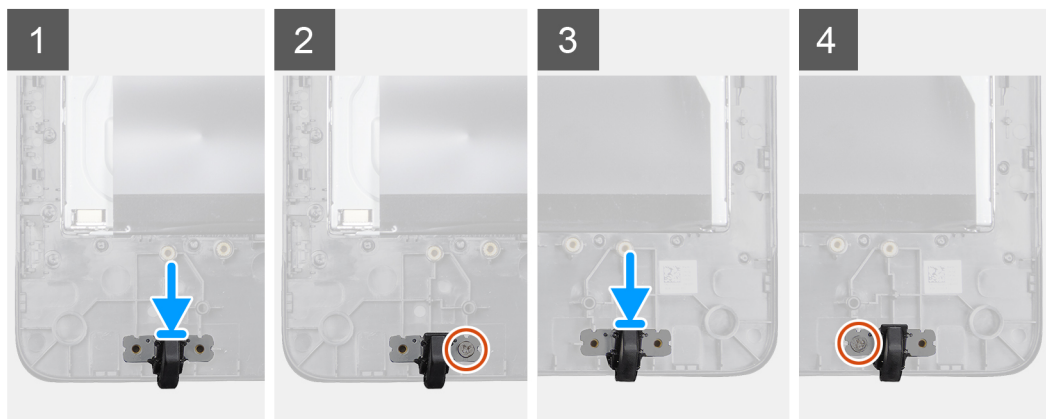
コンポーネントを交換する場合は、取り付け手順を実行する前に既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の画像は、ラバー フィートの位置と取り付け手順を示しています。



4x
M2x2



手順

1. ラバーフィートのネジ穴をディスプレイベゼルのネジ穴に合わせます。
2. ラバー フィートをディスプレイ アセンブリーに固定しているネジ 2 本 (M3x5) を取り付けます。

次の手順

1. ミドル カバーを取り付けます。
2. スピーカーを取り付けます。
3. VESA マウントを取り付けます。
4. システム基板を取り付けます。
5. ヒートシンクを取り付けます。
6. ワイヤレスカードを取り付けます。
7. ヒートシンクを取り付けます。
8. ソリッドステートドライブを取り付けます。
9. 背面カバーを取り付けます。
10. スタンドを取り付けます。
11. 「シンククライアントでの作業後」の手順に従います。

Identifier	GUID-8E909A83-DA8D-42AA-93E1-E3E34B99F72E
Version	1
Status	Translation approved

ディスプレイパネル

Identifier	GUID-DBBD3D2C-FC49-431C-BBA8-C6B0FE6D5967
Version	1
Status	Translation approved

ディスプレイパネルの取り外し

前提条件

1. 「シンクライアントでの作業前」の手順に従います。
2. スタンドを取り外します。
3. 背面カバーを取り外します。
4. VESA マウントを取り外します。
5. スピーカーを取り外します。
6. オンスクリーン ディスプレイ ボードを取り外します。
7. カメラを取り外します。
8. WLAN カードを取り外します。
9. メモリー モジュールを取り外します。
10. ソリッドステート ドライブを取り外します。
11. ヒート シンクを取り外します。
12. ミドル フレームを取り外します。

このタスクについて

次の画像は、ディスプレイ パネルの位置と取り外し手順を示しています。



手順

上記の手順の実行後、ディスプレイ パネル アセンブリーを取り外します。

Identifier	GUID-C1688A6F-7475-4F62-B432-67B27CE80FF6
Version	1
Status	Translation approved

ディスプレイパネルの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合は、取り付け手順を実行する前に既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の画像は、ディスプレイ パネルの位置と取り付け手順を示しています。



手順

ディスプレイ パネル アセンブリーを平らな面に配置します。

次の手順

1. ミドルフレームを取り付けます。
2. カメラを取り付けます。
3. スピーカーを取り付けます。
4. システム基板を取り付けます。
5. ヒートシンクを取り付けます。
6. WLAN カードを取り付けます。
7. メモリーモジュールを取り付けます。
8. VESA マウントを取り付けます。
9. 背面カバーを取り付けます。
10. スタンドを取り付けます。
11. 「シンククライアントでの作業後」の手順に従います。

Identifier	GUID-97BFBC9B-63FC-4A1F-8E1A-7F43530C3853
Version	1
Status	Translation approved

セットアップユーティリティ

Identifier	GUID-F26AD7F0-E7EC-46B7-8B6A-B97BC3C42EDB
Version	1
Status	Translation approved

システムセットアップの概要

セットアップユーティリティでは次のことができます。

- ・ シンクライアントに対するハードウェアの追加、変更、または取り外し後におけるシステム設定情報の変更。
- ・ ユーザーパスワードなどのユーザー選択可能オプションの設定または変更。
- ・ 現在のメモリの容量を読み取る、または取り付けられているハードドライブのタイプを設定する。

セットアップユーティリティを使用する前に、[システムセットアップ]画面の情報を控えておくことをお勧めします。

注意: シンクライアントに詳しいユーザー以外は、このプログラムの設定を変更しないでください。特定の変更によりシンクライアントが誤作動を起こす可能性があります。

Identifier	GUID-E28B0C02-4E75-42C4-82C3-4958B2FFB0E4
Version	1
Status	Translation approved

シンクライアントの BIOS 設定へのアクセス

このタスクについて

このセクションでは、Wyse 5470 AIO UEFI BIOS 設定について説明します。シンクライアントを起動する間、Dell ロゴが短時間表示されます。

手順

1. 起動時に、**F2** キーを押します。デフォルトのパスワード `Fireport` を入力します。
BIOS ダイアログボックスが表示されます。
2. BIOS 設定を変更するには、[システムセットアップ]設定を使用します。

メモ: BIOS メニューには、BIOS のデフォルト設定、工場出荷時の設定、およびユーザーのカスタムのユーザー設定を復元するオプションがあります。BIOS のデフォルト設定では、BIOS ファイルの一部である値が復元されます。工場出荷時のデフォルト設定を復元すると、クライアントを出荷する前に工場で設定された値に BIOS 設定が復元されます。

次の手順

起動中に起動メニューにアクセスするには、**F12** キーを押します。[起動選択]メニューを使用して、次のように起動順序を選択または表示します。

- ・ UEFI から起動：ハードドライブ、パーティション 4

Identifier	GUID-A209CDE9-0474-41BD-AB9D-EE1DBAF9A1D0
Version	1
Status	Translation approved

ナビゲーション キー

メモ: ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

表 2. ナビゲーション キー

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
入力	選択したフィールドの値を選択するか (該当する場合)、フィールド内のリンクに移動します。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。 ① メモ: このオプションは、標準グラフィックブラウザにのみ適用されます。
<Esc>	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で Esc キーを押すと、未保存の変更を保存するよう求めるメッセージが表示され、システムが再起動します。

Identifier	GUID-CDC144C1-FF3C-4C4C-AA48-816D2409296E
Version	1
Status	Translation approved

起動順序

起動順序設定を使用すると、システム セットアップに定義済みの起動デバイスの順序をバイパスして、特定のデバイスから直接起動することができます。電源投入時の自己テスト (POST) 中に、Dell ロゴが表示されたら、次の操作を実行できます。

- ・ F2 キーを押してセットアップユーティリティにアクセスする
- ・ F12 キーを押して 1 回限りの起動メニューを立ち上げる

1 回限りの起動メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- ・ UEFI 起動
 - ・ UEFI : Windows Boot Manager
 - ・ UEFI : ハードドライブ、パーティション 4
- ・ その他のオプション
 - ・ BIOS セットアップ
 - ・ BIOS フラッシュ アップデート
 - ・ 診断
 - ・ 起動メニューを終了して続行する

① **メモ:** [診断] オプションを選択した場合、[ePSA 診断] 画面が表示されます。システム セットアップ メニューにアクセスするには、[BIOS セットアップ] をクリックします。

Identifier	GUID-2D4C363A-CA31-48CE-9068-C09E32C4D7AD
Version	1
Status	Translation approved

一般設定画面のオプション

このセクションでは、シンクライアントの主要なハードウェア機能をリストします。

表 3. 一般設定画面のオプション

オプション	説明
システム情報	このセクションでは、シンクライアントの主要なハードウェア機能をリストします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ システム情報 : BIOS バージョン、サービス タグ、資産タグ、所有者タグ、購入日、製造日、エクスプレス サービス コード、署名付きファームウェア アップデートが表示されます (デフォルトで有効)。 ・ メモリー情報 : メモリーの搭載容量、使用可能な容量、速度、チャンネル モード、テクノロジー、DIMM A のサイズ、DIMM B のサイズが表示されます。

起動順序

メモ: メモリーの使用可能な容量は搭載容量を下回るため、特定のオペレーティングシステムでは、使用可能なメモリー容量をすべて使用できない場合があります。

- ・ PCI 情報：スロットの詳細が表示されます。[スロット 1] はデフォルトでは空です。
- ・ プロセッサ情報：プロセッサのタイプ、コア数、プロセッサ ID、現在のクロック速度、最小クロック速度、最大クロック速度、プロセッサ L2 キャッシュ、プロセッサ L3 キャッシュ、HT 対応、64 ビット テクノロジーが表示されます。
- ・ デバイス情報：プライマリー ハードドライブ、ビデオ コントローラー、オーディオ コントローラー、Wi-Fi デバイス、Bluetooth デバイス

このオプションを使用すると、システムがオペレーティングシステムを起動する順序を変更できます。

- ・ デフォルトの起動順序
 - ・ Windows Boot Manager
 - ・ UEFI：ハードドライブ、パーティション 4
- ・ 起動リスト オプション：起動オプションを追加したり、既存の起動オプションを削除したり、起動オプションを表示したりすることができます。

UEFI 起動パスのセキュリティ

このオプションを使用すると、F12 起動メニューから UEFI 起動パスを起動するときに、**管理者パスワードの入力方法** (設定されている場合) に関するシステム プロンプトを制御することができます。

以下のオプションがあります。

- ・ 常に内蔵ハードドライブを除外する (デフォルト)
- ・ 常に実行する
- ・ 実行しない

日付/時刻

このオプションを使用すると、システムの日付と時刻を変更することができます。

Identifier	GUID-4E7A365E-1E54-4337-91BF-BF1C8C68AD5D
Version	1
Status	Translation approved

システム設定画面のオプション

表 4. システム設定のオプション

オプション	説明
UEFI ネットワーク スタック	<p>[UEFI ネットワーク スタック] オプションが有効になっている場合は、UEFI ネットワーク プロトコルがインストールされ、オペレーティングシステム稼働前およびオペレーティングシステム稼働直後のネットワーキング機能で、有効になっている任意の NIC または SFP を使用できます。</p> <p>[UEFI ネットワーク スタック] オプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
内蔵 NIC	<p>[内蔵 NIC] オプションはオンボード LAN コントローラーを制御します。以下のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 無効 - 内蔵 LAN はオフであり、オペレーティングシステムでは認識されません。 ・ 有効 - 内蔵 LAN は有効です。

オプション	説明
SATA 動作	<ul style="list-style-type: none"> ・ PXE で有効 — 内蔵 LAN は (PXE 起動で) 有効です。このオプションはデフォルトで有効化されています。 <p>このオプションでは、内蔵 SATA ハードドライブコントローラーの動作モードを設定します。以下のオプションがあります。</p>
ドライブ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無効 ・ AHCI - デフォルトで有効 <p>基板上の SATA ドライブおよび M.2 PCIe SSD を設定できます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SATA-0 (デフォルトで有効) ・ M.2 PCIe SSD-0
スマート レポート作成	<p>このフィールドは、統合ドライブのハードドライブエラーをシステム起動時にレポートするかどうかをコントロールします。</p>
USB 設定	<p>これはオプションの機能です。</p> <p>このフィールドは、内蔵 USB コントローラを設定します。起動サポートが有効の場合、システムはあらゆる種類の USB 大容量ストレージ デバイス (ハードドライブや USB メモリなど) を起動することができます。</p> <p>USB ポートが有効になっている場合は、このポートに接続されているデバイスは有効になっており、オペレーティングシステムが識別できます。</p> <p>USB ポートが無効の場合、オペレーティングシステムはこのポートに接続されたいずれのデバイスも認識できなくなります。</p> <p>以下のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ USB 起動サポートを有効にする - デフォルトで有効 ・ 側面 USB ポートを有効にする - デフォルトで有効 ・ 背面 USB ポートを有効にする - デフォルトで有効 <p>メモ: USB キーボードおよびマウスは、この設定に関係なく BIOS セットアップで常に動作します。</p>
側面 USB 設定	<p>このオプションは、側面 USB ポートを有効または無効にします。以下のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 側面ポート上部 — デフォルトで有効 ・ 側面ポート下部 — デフォルトで有効
背面 USB 設定	<p>このオプションは、背面 USB ポートを有効または無効にします。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 背面ポート上部左 - デフォルトで有効 ・ 背面ポート下部左 - デフォルトで有効 ・ 背面ポート上部右 - デフォルトで有効 ・ 背面ポート下部右 - デフォルトで有効
USB PowerShare	<p>このオプションでは、USB PowerShare 機能を設定して、システムがオフのときに USB PowerShare ポートから外部デバイスを充電することができます。このオプションはデフォルトで有効化されています。</p>
オーディオ	<p>このオプションは、統合オーディオコントローラを有効または無効にします。[オーディオを有効にする] オプションはデフォルトで選択されています。以下のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マイクを有効にする - デフォルトで有効 ・ 内蔵スピーカーを有効にする - デフォルトで有効

オプション	説明
OSD ボタン管理	このオプションでは、ユーザーはシステムの OSD (オンスクリーンディスプレイ) ボタンを無効にできます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
その他のデバイス	このオプションは、シンクライアントのカメラを有効または無効にします。[カメラを有効にする] オプションはデフォルトで選択されています。

Identifier	GUID-5743B907-258C-4403-B933-331DF21159AC
Version	1
Status	Translation approved

ビデオ画面のオプション

表 5. ビデオ画面のオプション

オプション	説明
プライマリー ディスプレイ	このオプションは、システムで複数のコントローラが使用できるときに、プライマリディスプレイにするビデオコントローラを決定します。以下のオプションがあります。 <ul style="list-style-type: none"> 自動 - デフォルトで有効に設定されています。 Intel HD グラフィックス

Identifier	GUID-D1B109AF-AC91-4D1E-901F-3B10BA899D5D
Version	1
Status	Translation approved

セキュリティ画面のオプション

表 6. セキュリティ画面のオプション

オプション	説明
管理者パスワード	このオプションは、管理者パスワードの設定、変更、または削除を行うことができます。 <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> システムパスワードまたはハードドライブパスワードを設定する前に、管理者パスワードを設定してください。管理者パスワードを削除すると、システムパスワードとハードドライブパスワードも自動的に削除されます。 パスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。 <p>デフォルトでは、管理者パスワードは設定されません。</p>
システム パスワード	このオプションは、システムパスワードを設定、変更、または削除できます。 <p>メモ: パスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。</p> <p>デフォルトでは、管理者パスワードは設定されません。</p>
内蔵 HDD-0 パスワード	このオプションは、内蔵ハードドライブ (HDD-0) パスワードを設定、変更、削除します。 <ul style="list-style-type: none"> 設定したハードドライブパスワードは、ハードドライブに付属して移動します。つまり、別のシステムにインストールしても、ハードドライブは保護されます。 ユーザーがハードドライブにアクセスしようとするたびに、パスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。正しいパスワードを入力しないと、ハードドライブは機能しません。

強力なパスワード

- ・ デフォルトでは、ハードドライブにはパスワードは設定されていません。

このオプションは、常に強力なパスワードを設定するオプションを強制することができます。

[**強力なパスワードを有効にする**] オプションはデフォルトでは選択されていません。

i **メモ:** [**強力なパスワード**] が有効になっている場合、**管理者パスワードとシステムパスワードに、大文字と小文字をそれぞれ1文字以上含める必要があります。パスワードは8文字以上の長さにする必要があります。**

パスワード設定

このオプションを使用すると、管理者パスワードとシステムパスワードの最小および最大のパスワード長を指定できます。

- ・ **最少 4** — デフォルトでは、最小値は 4 に設定されています。値を増やすことができます。
- ・ **最大 32** — デフォルトでは、最大値は 32 に設定されています。値を減らすことができます。

パスワードのスキップ

このオプションは、システムパスワードと内蔵ハードドライブパスワードが設定されている場合に、これらのパスワードをスキップする許可を有効または無効にすることができます。オプションは次のとおりです。

- ・ 無効 - デフォルトで有効
- ・ 再起動のスキップ

パスワードの変更

管理者パスワードが設定されている場合、システムパスワードとハードドライブパスワードに対する権限を有効または無効にすることができます。

デフォルトでは、[**管理者以外のパスワード変更を許可する**] オプションが選択されています。

UEFI カプセル ファームウェア アップデート

このオプションでは、UEFI カプセルファームウェアを有効または無効にすることができます。このオプションでは、このシステムが UEFI カプセルアップデートパッケージから BIOS をアップデートできるかどうかを制御します。このオプションはデフォルトで有効化されています。

TPM 2.0 セキュリティ

このオプションを使用すると、Trusted Platform Module テクノロジー機能を有効にすることができます。以下のオプションがあります。

- ・ TPM オン - デフォルトで有効
- ・ クリア
- ・ 有効なコマンドの PPI をスキップ
- ・ 証明書を有効にする — デフォルトで有効
- ・ 無効なコマンドの PPI をスキップ
- ・ キーストレージを有効にする — デフォルトで有効
- ・ クリア コマンドの PPI をスキップ
- ・ SHA-256 - デフォルトで有効
- ・ 無効
- ・ 有効 — デフォルトで選択

管理セットアップのロック

このオプションは、管理者パスワードが設定されている場合に、ユーザーによるセットアップユーティリティの起動を阻止することができます。

マスターパスワードのロックアウト

このオプションは、マシンがオペレーティングシステムから起動する前に、シンクライアントの基本入出力システム (BIOS) にログインするために必要な認証情報です。マスターパスワードロックアウトを有効にする前に、ハードディスクのパスワード

オプション

説明

SMM セキュリティの緩和

ドを消去する必要があります。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。

このオプションでは、追加の UEFI SMM セキュリティ対策の保護を有効または無効にできます。

Identifier	GUID-B50DD4F1-79DF-4569-BC6A-0B25AA9816C7
Version	1
Status	Translation approved

セキュア ブート画面のオプション

表 7. セキュア ブート画面のオプション

オプション

説明

セキュア ブート有効

このオプションは、セキュアブート機能を有効または無効にします。デフォルトでは [**セキュア ブート有効**] オプションは設定されていません。

セキュア ブート モード

このオプションを使用すると、セキュア ブート操作モードを変更でき、セキュア ブートの動作を変更して、UEFI ドライバー署名の評価または強制を実行できるようにします。以下のオプションがあります。

- ・ 展開モード
- ・ 監査モード

エキスパート キー管理

このオプションを使用すると、システムがカスタム モードの場合にのみ、セキュリティ キー データベースを操作できます。[**カスタム モードを有効にする**] オプションは、デフォルトでは無効に設定されています。以下のオプションがあります。

- ・ PK
- ・ KEK
- ・ db
- ・ dbx

カスタムモードを有効にすると、PK、KEK、db、および dbx の関連オプションが表示されます。オプションは次のとおりです。

- ・ ファイルに保存 — ユーザーが選択したファイルにキーを保存します。
- ・ ファイルから置き換え — 現在のキーをユーザーが選択したファイルのキーと置き換えます。
- ・ ファイルから追加 — ユーザーが選択したファイルから現在のデータベースにキーを追加します。
- ・ 削除 — 選択したキーを削除します。
- ・ すべてのキーをリセット — デフォルト設定にリセットします。
- ・ すべてのキーを削除 — すべてのキーを削除します。

メモ: カスタム モードを無効にすると、すべての変更が消去され、キーがデフォルト設定に復元されます。

Identifier	GUID-7AC65F31-5B36-4B48-ADA1-C7303449B12A
Version	1
Status	Translation approved

Intel Software Guard Extensions 画面のオプション

表 8. Intel Software Guard Extensions オプション

オプション	説明
Intel SGX 有効	<p>インテルソフトウェアガードエクステンション (SGX) オプションを有効にして、コードを実行するためやオペレーティングシステムに関する機密情報を保存するための安全な環境を提供します。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 無効 有効 ソフトウェア制御 — このオプションはデフォルトで有効に設定
Enclave メモリー サイズ	<p>Intel Software Guard Extensions (SGX) Enclave 予約メモリサイズを設定します。SGX が [ソフトウェア制御] に設定されている場合、この設定は使用できず、影響はありません。以下のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 32 MB 64 MB 128 MB - デフォルト

Identifier	GUID-486195C0-60D7-41C3-AE21-1CD4F4D0E21F
Version	1
Status	Translation approved

パフォーマンス画面のオプション

表 9. パフォーマンスオプション

オプション	説明
マルチコア サポート	<p>このオプションは、プロセッサで1つまたは複数のコアが有効になっているかどうかを指定します。以下のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> すべて - デフォルトで有効 1 2 3
インテル SpeedStep	<p>このオプションでは、インテル SpeedStep 機能を有効または無効にできます。このオプションは次のとおりです。</p> <p>インテル SpeedStep を有効にする</p> <p>このオプションはデフォルトで有効化されています。</p>
C ステート制御	<p>このオプションでは、追加プロセッサのスリープ状態を有効または無効にすることができます。</p> <p>このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>
インテル ターボブースト	<p>このオプションでは、プロセッサのインテルターボブーストモードを有効または無効にすることができます。このオプションは次のとおりです。</p> <p>インテル ターボブーストを有効にする — このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>

Identifier	GUID-8C5A9FA2-93C5-4072-9120-8F55149B62E6
Version	1
Status	Translation approved

電力管理画面のオプション

表 10. 電力管理のオプション

オプション	説明
AC リカバリ	<p>このオプションを使用すると、AC 電源の切断後に AC 電源が回復したときのシステムの動作を制御できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源オフ - デフォルトで有効に設定されています。 電源オン 直前の電源状態
自動電源オン時刻	<p>このオプションを使用すると、コンピュータを自動的に電源オンにする時刻を設定できます。以下のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 無効 - デフォルトで有効 毎日 平日 選択した日
ディープスリープ制御	<p>このオプションを使用すると、シャットダウン時 (S5) または休止状態 (S4) モードで、システムがどの程度消費電力を抑えているかを判断できます。以下のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 無効 - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 S5 のみで有効 S4 と S5 で有効
USB ウェイクサポート	<p>このオプションを使用すると、USB デバイスからスタンバイモードのシステムを復帰させることができます。</p> <p>メモ: この機能は AC アダプタが接続されている場合のみ機能します。スタンバイモード中に AC アダプタを取り外すと、バッテリー電源を節約するために、セットアップユーティリティはすべての USB ポートから電源を切断します。</p> <p>USB ウェイクサポートを有効にする - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
Wake on LAN	<p>このオプションを使用すると、LAN 信号によってトリガーされたときにコンピュータをオフ状態からオンにする機能を有効または無効にすることができます。以下のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 無効 LAN のみ - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 PXE ブート付き LAN
スリープのブロック	<p>[スリープのブロック] オプションを使用すると、オペレーティングシステム環境でスリープモードに入ることができなくなります。</p> <p>スリープのブロック - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>

Identifier	GUID-F3E586D1-6A3A-4EBA-BB6E-6F52139F1D77
Version	1
Status	Translation approved

POST 動作画面のオプション

表 11. POST 動作のオプション

オプション	説明
アダプターの警告	<p>このオプションを使用すると、特定の電源アダプタを使用する場合に、システムセットアップ (BIOS) の警告メッセージを、有効または無効にできます。</p> <p>デフォルトでは、[アダプターの警告を有効にする] オプションは有効になっています。</p>
Numlock LED	<p>このオプションでは、システムの起動時に Numlock LED を有効または無効にします。</p> <p>このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
キーボード エラー	<p>このオプションを使用すると、システムの起動時にキーボード関連のエラーを報告するかどうかを指定できます。デフォルトでは、[キーボード エラーの検出を有効にする] オプションは有効になっています。</p>
高速起動	<p>このオプションを使用すると、一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスをスピードアップできます。以下のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最小 ・ 完全 — このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 ・ 自動
延長 BIOS POST 時間	<p>このオプションを使用すると、起動前遅延を追加作成できます。以下のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 0 秒 — このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 ・ 5 秒 ・ 10 秒
全画面ロゴ	<p>このオプションは、全画面ロゴを有効または無効にします。デフォルトでは、[全画面ロゴを有効にする] オプションは有効になっていません。</p>

Identifier	GUID-EEA3F624-19A4-42F8-A58B-CDB25E5C76A0
Version	1
Status	Translation approved

ワイヤレス画面のオプション

表 12. ワイヤレスオプション

オプション	説明
ワイヤレスデバイス有効	<p>このオプションを使用すると、内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。以下のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ WLAN/BT — デフォルトで有効

Identifier	GUID-4101D7FE-5126-4012-9B8B-A7E6D49C0DE0
Version	1
Status	Translation approved

仮想化サポート画面のオプション

表 13. 仮想化のオプション

オプション	説明
仮想化	<p>このオプションは、インテルバーチャライゼーションテクノロジーを有効または無効にします。</p> <p>インテル バーチャライゼーション テクノロジーを有効にする (デフォルト)</p>
Direct I/O 用の VT	<p>このオプションでは、Direct I/O 用にインテルバーチャライゼーションテクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。このオプションはデフォルトで有効化されていません。</p>

Identifier	GUID-D4733A70-3F84-4CEE-9602-460C2BDA60C9
Version	1
Status	Translation approved

メンテナンス画面のオプション

表 14. メンテナンスのオプション

オプション	説明
サービス タグ	<p>お使いのコンピュータのサービスタグが表示されます。</p>
資産タグ	<p>このオプションを使用すると、資産タグが未設定の場合、システムの資産タグを作成できます。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
SERR メッセージ	<p>このオプションを使用すると、SERR メッセージメカニズムを制御できます。[SERR メッセージを有効にする] オプションはデフォルトで有効化されています。</p>
BIOS ダウングレード	<p>ここで、システムファームウェアの以前のレビジョンへのフラッシングを制御します。[BIOS ダウングレードを許可する] オプションはデフォルトで有効化されています。</p>
データ消去	<p>このフィールドで、すべての内蔵ストレージデバイスからデータを安全に消去することができます。[次の起動時に消去] オプションはデフォルトで有効になっていません。影響を受けるデバイスは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 内蔵 SATA HDD/SSD 内蔵 M.2 SATA SSD 内蔵 M.2 PCIe SSD 内蔵 eMMC <p>△ 注意: このオプションを有効にすると、すべての情報が失われます。</p>
BIOS リカバリー	<p>このオプションを使用すると、ユーザーのプライマリハードドライブまたは外付け USB キーのリカバリファイルから特定の破損した BIOS 状況をリカバリできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ハードドライブからの BIOS リカバリー - デフォルトで有効に設定されています。 BIOS 自動リカバリー - デフォルトで無効に設定されています。

Identifier	GUID-F013BA1D-D4C7-46CD-8F32-BFF207C9A757
Version	1
Status	Translation approved

システム ログ画面のオプション

表 15. システム ログ画面のオプション

オプション	説明
BIOS イベント	このオプションを使用すると、すべてのログを削除できます。

Identifier	GUID-6F2EF458-28B4-4522-92B8-9DE4FAF87B31
Version	1
Status	Translation approved

詳細設定

表 16. 詳細設定

オプション	説明
アクティブ ステート 電力管理 (ASPM)	<p>ASPM は、PCI Express デバイスの電力管理メカニズムであり、完全にアクティブな状態の場合に消費電力を削減します。以下のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動 — デバイスと PCI Express ハブ間の自動通信。 ・ 無効 — ASPM は常にオフ。 ・ L1のみ — ASPM は L1を使用するように設定。

Identifier	GUID-AF572A74-21A3-4D3F-B7A6-3D92BF2924B5
Version	1
Status	Translation approved

システムのトラブルシューティング

診断ライトやエラーメッセージなどのインジケータを使って、デバイスの操作中にシンクライアントでトラブルシューティングを行うことができます。さらに、ePSA (強化された起動前システムアセスメント) 診断を使用して、シンクライアントの完全な診断およびトラブルシューティングを行うことができます。

トピック：

- ・ 強化された起動前システムアセスメント診断
- ・ 電源の動作
- ・ 電源状態と LED のステータス

Identifier	GUID-A59CC575-B33D-4E59-B98D-7949379B8887
Version	1
Status	Translation approved

強化された起動前システムアセスメント診断

このタスクについて

ePSA (強化された起動前システムアセスメント) 診断 (または「システム診断」) によって、ハードウェアの完全なチェックが実行されます。ePSA は BIOS に内蔵されており、BIOS 内部で起動します。この内蔵システム診断プログラムには、個別のデバイスやデバイスグループのためのオプションが用意されており、以下の処理が可能です。

- ・ テストを自動的に、または対話モードで実行
- ・ テストの繰り返し
- ・ テスト結果の表示または保存
- ・ テストを実行して追加のテストオプションを提示し、故障したデバイスに関するより詳しい情報を提供
- ・ テストが問題なく終了したかどうかを知らせるステータスメッセージを表示
- ・ テスト中に発生した問題を通知するエラーメッセージを表示

△ 注意: お使いのシンクライアントのみをテストする場合は、お使いのソフトウェアに付属するシステム診断プログラムを使用してください。他のシンクライアントにこのプログラムを使用すると、結果が無効だったり、エラーメッセージが表示されることがあります。

① メモ: 個別のデバイスをテストする際には、ユーザーによる操作が必要な場合があります。診断テストを実行するときは、必ずシンクライアント端末の前にいるようにしてください。

Identifier	GUID-2BEB76C5-ADDF-4BC7-A54B-33FB857A216E
Version	1
Status	Translation approved

ePSA 診断の実行

手順

1. シンクライアントを起動します。
2. シンクライアントの起動時に、F12 キーを押します。

AC アダプタの電源は CPU の電源状態よりも低くなっています。

「No boot」状態でエラーメッセージが表示されるが、システムがシャットダウンしません。

よりも容量が低いものです。システムは利用可能な電源に適合するようにパフォーマンスを調整します。最善のシステムパフォーマンスが得られるように、Dell xxxxxxW AC 以上の AC アダプタを接続してください。

システムが起動できる場合:

警告 - xxxxxxW AC アダプタが検出されました。これはコンピュータ出荷時に同梱されていた推奨の xxxxxxW AC アダプタよりも容量が低いものです。この場合、システムは起動できません。最善のシステムパフォーマンスが得られるように、Dell xxxxxxW AC 以上の AC アダプタを接続してください。任意のキーを押してシャットダウンします。

Identifier	GUID-49845D68-AFCE-4736-845C-9E173671B2A3
Version	1
Status	Translation approved

電源状態と LED のステータス

表 18. 電源状態と LED の動作

インジケータ	症状	説明
電源 LED	単色の白	シンクライアントは動作しています — S0 状態。
	白色で点滅	シンクライアントはスリープ状態です — S3 状態。
	オフ	シンクライアントはオフ状態です。
	橙色に点灯	シンクライアントの起動が進行中です。
	橙色に点滅	故障した電源装置です。

メモ: 電源ボタンを 4 秒以上押したままにして、All-in-One シンクライアントを強制的にシャットダウンします。

Identifier	GUID-BE16C181-0959-44C3-B434-E44A0A602A4C
Version	13
Status	Translation Validated

ヘルプ


トピック：

- ・ [デルへのお問い合わせ](#)

Identifier	GUID-7A3627F9-0363-4515-A1D4-1B7878F4B8C4
Version	13
Status	Translation Validated

デルへのお問い合わせ

前提条件

-  **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

このタスクについて

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国/地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

手順

1. [Dell.com/support](https://www.dell.com/support) にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある **国/地域を選択** ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。